平成２９年度

事業報告及び附属明細書

ひたすらなるつながり

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

（滋賀の縁創造実践センター）

目　次

Ⅰ　総括報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　第１次経営計画に基づき実施する事業
【１の柱】新たな事業推進スタイルの創出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
―滋賀の縁創造実践センターとの協働―
【２の柱】２０２５年を見据えた介護・福祉人材確保・育成の推進・・・・・・・・・　6
―介護・福祉人材センターの再構築と地域福祉の新たな担い手づくり―
【３の柱】ｉｔｏｇａ－ｉｓｍ　実践の思想を学ぶ生涯福祉学習の推進・・・・・・・　9
―誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指す「福祉滋賀」の土台づくり―
【４の柱】子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
【５の柱】組織基盤強化のための改革の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
―自主的・持続的な法人経営を目指す組織の確立―

Ⅲ　平成２９年度事業報告（部門別）
経営部門
＜法人経営担当＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
＜資金担当＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
事業部門
＜地域福祉担当＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33
＜相談支援担当＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　54
滋賀の縁創造実践センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　60
人材部門
＜介護・福祉人材センター＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　68
＜研修センター＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　80
＜レイカディア振興担当＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　105
福祉用具センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　114
運営適正化委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　125

※本報告書は、社会福祉法に規定する事業報告及び事業報告を補足する重要事項である附属明細書を「事業報告及び附属明細書」として一体的に作成しています。
※本報告書では、研修講師等の氏名は敬称を略させていただいております。

Ⅰ　総　括　報　告

平成 28 年 3 月に、「自主」・「自立」・「自律」を法人の目指すべき姿に掲げ、平成 28～30 年度の 3 年間を期間とする第１次経営計画は平成 29 年度が中間年となり、５年間の期限を設定してスタートした滋賀の縁創造実践センターの活動が 4 年目となる大変重要な年度でありました。

次の展開に向けて、実践をすすめながら今後の方向性を検討し、体制や仕組みの構築を丁寧かつスピード感を持ってすすめることができました。

「滋賀の縁創造実践センター」から生まれ、育まれた「遊べる・学べる淡海子ども食堂」は、子どもを真ん中において地域の課題に気付いた人たちが集まり、つながって、課題を解決するという、少子・高齢社会、人口減少社会における地域社会像を示すものであります。この人々の「ひたすらなるつながり」によって「子どもを真ん中においた地域づくり」を推進することが本会の役割であることから、県内の様々な人たちと協働しながら、共生社会の実現を目指した実践に取り組むことを経営計画の目指す姿であるとの認識から経営計画を変更し、「福祉しが」を実現するための具体的戦略として、「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の推進について、４つ目の事業戦略の柱として新設しました。

８月にスタートしたプロジェクトでは、滋賀の縁創造実践センターと協働し「子どもを真ん中においた地域づくり」を進める基盤づくりとして「遊べる・学べる子ども食堂」を推進し、そのための「はぐくみ基金」を造成し、趣旨に賛同するスポンサー登録を推し進める基礎固めをすすめた結果、食堂数が９５、登録スポンサーが１４５件になるなど急速な広がりを見せ、上々の滑り出しとなりました。

２つ目の事業戦略として掲げている「２０２５年を見据えた介護・福祉人材確保・育成の推進」に関しては、求職者、採用者とも減少する等目標達成ができなかった中で、福祉人材の育成と定着の一体化をすすめ、滋賀の福祉人材共通の土台づくりのため研修体系の構築を行い、「（仮称）滋賀県社会福祉研修センター」の立ち上げに向けた提案をまとめることで、準備段階に入ることができました。

次年度においては、上半期に研修体系を確立し、１０月を目途に「（仮称）滋賀県社会福祉研修センター」を目指してまいります。

５つ目の事業戦略として掲げている「組織基盤強化のための改革の推進」に関しては、社会福祉の改正趣旨を踏まえ、法人組織を改編し、新たな定款に基づき理事、監事、評議員を選任し、自主的・持続的な法人経営を目指す組織の確立に向けて、法人経営改革を推進することができました。

また、経営計画と連動した人事管理制度を導入し、まずは管理職を対象とした人事考課を実施することができ、次年度からは全職員を対象として実施することになりました。

次年度は、第１次経営計画の最終年度、また、滋賀の縁センター実践センターと統合する重要な年度となります。

本会が第１次計画で法人の目指す姿として掲げた「自主」・「自立」・「自律」を実現し、縁センターの理念と実践を継承していくためには、人間的な共感力を基本とした「ひたすらなるつながり」の法人理念に基づく滋賀県社協職員の人材育成が急務であり、覚悟を決めて取組みをすすめてまいります。

Ⅱ　第１次経営計画に基づき実施する事業

【１の柱】　新たな事業推進スタイルの創出
―滋賀の縁創造実践センターとの協働―

１　縁センターのリーディングプロジェクトとの協働

滋賀の民間福祉関係者が自覚者・責任者として、福祉課題の解決に向けた先駆的な取組を進める滋賀の縁創造実践センターとともに実践を推進することを通して、社会的孤立・社会的排除のない共に生きる地域づくりを推進した。

（１）「滋賀の“縁”」認証事業の推進

①職員による「現場実践者に学ぶ」活動

＜実績報告＞

ⅰ　職員学習会の実施

・１回開催

・内容「甲賀・湖南引きこもり支援『奏―かなでー』の現場実践から、縁センターの志と実践の姿勢を学ぶ」

講師　社会福祉法人さわらび福祉会　主任相談支援員　北出　篤嗣

ⅱ　現場訪問

・一般職員各１～２事例を選び、現場を訪問し学んだ。

（１５人、１９事例）

・認証委員会に１３件推薦

〔目標達成度：１９（実績値）/３０（目標値）〕

②認証委員会の開催

＜実績＞

・１回開催

・認証４件、奨励９件

③社会福祉大会におけるプレート贈呈

・１回開催

④認証団体と県、県社協、縁センターとの懇談会の開催

・１回開催

【評価】

○縁センターの実践者を講師に事前研修を開催したことで、職員が現場の実践と実践者に学ぶ姿勢を持つことの大事さを学ぶことができた。

○職員をチームにわけて取り組んだことで、目標値こそ達成できなかったが、県内各地の豊かな実践活動者に出会い、学び、それを職員間で共有することができ、県社協の新たな事業推進スタイルの確立に向けて、一歩前進した。

（２）遊べる・学べる淡海子ども食堂推進事業

４の柱１に掲載

２　「縁・支え合いの県民運動」の推進

滋賀の縁創造実践センターが目指す「縁・支え合いの県民運動」を推進するため、滋賀県ボランティアセンターにおいて、市町社協と協働で、誰もが気楽に参加できるボランティア体験プログラムを企画・実施した。

（１）「福祉ボランティア体験プログラム」の実施

＜実績報告＞

① 社協ボランティアコーディネーター連絡会議の開催
- ２回開催
- 参加者：３４名

② 施設・社協ボランティアコーディネーターセミナーの開催
- １回開催
- 参加者：３６名

③ 福祉施設ボランティア体験実施プロジェクト会議の開催
- ５回開催
- 「縁・支え合いの県民運動」福祉ボランティア体験情報誌の発行
  ８，０００部

＜福祉のボランティア体験者数＞

８，５３５人（目標達成率８５％）

（内訳）
- 県ボランティアセンターボランティア体験事業:３，０００人
- 遊べる学べる淡海子ども食堂ボランティア：１，８００人
- フリースペースのボランティア：１５０人
- ハローわくわく仕事体験のセミナーや受け入れへの協力者　２８５人
- レイカディアえにしの会：１００人
- レイカディア大学サポート隊：２００人
- レイカディア大学ボランティアの日：８００人
- 災害ボランティア：３００人
- 「えにしの日」への参加：１，９００人

（２）「縁・支え合いの県民運動」の気運醸成のための取組

①「えにしの日・えにし週間」の実施

＜実績報告＞

ｉ　「えにしの日・えにし週間」の実施
- 実施団体数：延べ２０団体
- 重点取組の設定
  避難所・福祉避難所の訓練・学習会、マニュアル等の検証
  災害時支援が必要な人の当事者団体が実施する訓練・学習会
- ２８年度取組み報告会（第１回滋賀県災害時用配慮者支援ネットワーク会議）の開催（１回）
- ２９年度実施に向けた研修会（第２回滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議の開催（１回）
- ２９年度実施に向けた検討（災害時福祉的支援検討会）

【評価】

○福祉施設ボランティア体験実施プロジェクト会議において、福祉施設ボランティアプログラムを開発、試行し、その成果をまとめたことで福祉施設のボランティアの多様性と可能性を見出すことができ、新たにチャレンジするボランティア体験実践の増加につなげることができた。

○２年目となった「えにしの日・えにし週間」は、重点取組を設定したこともあり、当事者団体や子ども食堂など実施主体が広がったが、一層の取組み周知をしていかなければならない。

○「えにしの日・えにし週間」から配慮者が必要な人の災害時の課題が出されているが、整理と提案が十分ではない。

３　課題解決のためのネットワークづくり

市町社協や社会福祉法人等との協働により、「課題」を中心に据えて協働して解決を図っていくネットワークづくりを推進した。

（１）　滋賀の縁塾及び「多職種連携マネジメント講座」の開催

＜実績報告＞

① 滋賀の縁塾の開催
- ５回開催
- 参加者数：１７０名

② 多職種サロンの開催
- ９回開催
- 参加者数：１０１名

③ つながり・ひろげる縁フォーラムの開催
- １回開催
- 参加者数：２００名

④ モデル事業フォーラムの開催
- ２回開催
- 参加者数：２３０名

⑤ コミュニティソーシャルワーカー基礎研修の開催（２日間）
- 参加者数：１５名

⑥ 生活困窮者自立支援制度担当者研修会の開催（３回）
- 参加者数：１１３名

⑦ 生活支援コーディネーター養成研修の開催（２日間）※３年目
- 修了者数：７５名

⑧ 生活支援コーディネーター学習・情報交換会の開催（２回）
- 参加者数：１１９名参加

［目標達成度：滋賀の縁塾開催数５回（実績）/7 回（目標値）］

【評価】

○縁塾は、参加者の支援関係者の幅が広くなり、検討事例の「現在」抱えている課題だけでなく「未来」にも思いを馳せることで、多職種連携の必要性が一層認識でき、実現に向けたトレーニングの場とすることができた。

〇これまでの積み重ねを、より実践に生かすため「伝える力、まきこむ力」にしぼったスペシャル版を実施し、自分を語ること、人を巻き込む力を培う機会とすることができた。

〇コミュニティワーク基礎研修は、合宿形式により実施することにより、参加者全員が集中したトレーニングを受け、スキルアップにつなげることができた。

〇現任の生活支援コーディネーターの抱えている課題は共通していることが多く、現場のコーディネーターの実践報告と情報交換の場をつくることによって、参加者にとって有益な場とすることができた。

4　縁の¨志¨（こころざし）と実践をつなぐ場づくり

滋賀の縁創造実践センターの¨志¨と県内各地で開催される実践をつなぎ、広げ、新たな実践を生み出す場づくりに取り組んだ。

（1）　第３回しが地域福祉フォーラムの開催

＜実績＞

・１回開催

・参加者数：１０７名

（2）　滋賀の縁創造実践センターモデル事業をテーマとしたフォーラムの開催

＜実績＞

①入浴モデル事業　地域共生型入浴サービスづくり研修会

・１回開催

・参加者：２６名

・内容　医療的ケアの必要な重度障害児・者の入浴支援の実践報告等

②ひきこもり支援（奏）報告会

・１回開催

・参加者：２００名

・内容：当事者や民生委員児童委員からの報告等

（3）　有識者による¨縁センター¨の今後についての検討会の設置

・２回開催

【２の柱】　２０２５年を見据えた介護・福祉人材確保・育成の推進
―介護・福祉人材センターの再構築と地域福祉の新たな担い手づくり―

１　介護・福祉人材センターの機能強化

（１）2025 年を見据えた挑戦的な事業の企画・実施

①介護・福祉の職場で働く人たちの登録制度の検討と制度設計

・実施できなかった。

②研修事業のあり方検討

・「社会福祉従事者研修のあり方に関する検討会」を部局横断的に立ち上げ、北野誠一氏（NPO 法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長）の指導の下、「滋賀県社会福祉協議会における社会福祉研修のあり方について」の報告書をまとめ、県に提言した。

２　未就業者の参入促進

（１）求職者に対する伴走型支援の実施

［相談実績］

・新規求人数…4,247 件（前年 4,720 件　▲473 件）

（内訳）中央 3,110 件（前年 3,571 件　▲461 件）/湖北 1,137 件（前年 1,149 件　▲12 件）

・新規求職者数は…1,112 人（前年 1,002 人　+110 人）

（内訳）中央 885 人（前年 771 人　+114 人）/湖北 227 人（前年 231 人　▲4 人）

・求人相談数…3,223 件（前年 2,886 件　+337 件）

（内訳）中央 2,184 件（前年 1,970　+214 件）/湖北 1,039 件（前年 916 件　+123 件）

・求職相談数…3,573 人（前年 2,941 人　+632 人）

（内訳）中央 3,106 人（前年 2,151 人　+955 人）/湖北 467 人（前年 790 人　▲323 人）

・来所相談数…816 件（前年 1,033 件　▲217 件）

（内訳）中央 589 件（前年 833 件　▲244 件）/湖北 227 件（前年 200 件　+27 件）

・第１回　合同就職説明会の開催…7 月 2 日　於：びわこ大津プリンスホテル

（来場者）242 人（前年 224 人　+18 人）

うち学生：119 人（前年 115 人　+4 人）、一般：123 人（前年 100 人　+23 人）

（登録者）120 人（学生 84 人・一般 36 人）

・第２回　合同就職説明会の開催…3 月 6 日　於：ホテルニューオウミ

（来場者）157 人（前年 227 人　▲70 人）

うち学生：63 人（前年 118 人　▲55 人）、一般：94 人（前年 227 人　▲133 人）

（登録者）157 人（学生 63 人・一般 94 人）

［採用実績］

・紹介による採用数…47 人（前年 66 人　▲19 人）

（内訳）中央 36 人（前年 40 人　▲12 人）/湖北 11 人（前年 26 人　▲15 人）

・合同就職説明会による採用数…44 人（前年 52 人　▲8 人）

（内訳）中央 35 人（前年 49 人　▲14 人）/湖北 9 人（前年 3 人　+6 人）

（２）潜在介護人材再就業支援の枠組みづくりと試行

・組みづくりは実施できなかった。

・再就業の支援目的で以下の事業を実施した。

①ふく楽Café

［開催実績］

10 月 23 日：長浜市民交流センター　参加者 9 名

11 月 30 日：フェリエ南草津（草津市）　参加者 7 名

12 月 14 日：G ネットしが（近江八幡市）　参加者 2 名

②再就職準備金貸付事業

・貸付実績…10 人（前年 5 人　+5 人）

３　再就業希望者への就労支援に関する取組

（１）潜在有資格者や経験者の把握・登録

離職介護福祉士等届出制度については、介護福祉士会と連携し、会員への制度周知を行ったほか、研修センター受講生などへの制度周知などの広報を行い、届出を推進した。届出者には定期的に再就職に向けた情報発信を行った。

（２）潜在的有資格者再就業支援セミナーの実施

・セミナーは未開催

（３）再就職準備金貸付事業の実施

・介護人材の再就職準備金貸付…10 人（前年 5 人　+5 人）

（参考）

・実務者研修受講資金貸付 169 人（前年 74 人　+95 人）

・保育士就職準備金等貸付 37 人（前年 7 人　+30 人）

・保育料一部貸付 64 人（前年 21 人　+43 人）

・保育補助者雇上貸付 1 件(前年-　)

４　就業者の介護・福祉業界への定着支援の取組

（１）新入職員の５年定着支援

①実行委員会方式による合同入職式の開催

・実行委員会による入職式を本会が事務局となり開催し、新人職員が先輩職員や新人職員同士で交流し、誇りを持って働くきっかけづくりを行った。

・参加者　７３名

②　従事後３年目・５年目のフォローアップ交流研修会の開催

〈実績報告〉

・キャリアデザイン研修　１日×１コース　５５名受講

（２）介護・福祉従事者に対する相談支援の実施

①　介護福祉士会・社会福祉士会の協力による「なんでも相談」の実施

・介護・福祉従事者のワークライフに関して、現場経験のある介護福祉士や社会福祉

士が相談を受け、介護・福祉の従事者としてのキャリアアップや、働き続けていけるよう助言を行ない、定着できるよう支援した。

〈実績報告〉

・相談件数　５９件

②　働きやすい職場づくりのためのセミナー

〈実績報告〉

・定着支援研修　１日×１コース　４７名受講

（３）メンター制度とＯＪＴの推進

〈実績報告〉

①ＯＪＴ推進研修　３日×１コース　４８名受講

②メンター育成及び支援員派遣事業

・メンター育成研修　基礎コース　２０事業所　　２５名受講

定着支援コース　１１事業所　１５名

〈目標達成度：２５名(実績値)/３０名(目標値)〉

③出前講座

派遣依頼受付数　７３件　　無料講師派遣数　５０件

有料講師紹介　　１５件　　自事業所対応等　５件

④職場内研修支援事業

〈実績報告〉

登録講師　　９名　　相談件数２５件　　⇒　登録講師派遣回数　２２

【３の柱】　ｉｔｏｇａ－ｉｓｍ　実践の思想を学ぶ生涯福祉学習の推進

―誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指す「福祉滋賀」の土台づくり―

１　市町社協と共同で進める福祉学習への取組

県民の福祉意識を醸成していくため、ボランティアセンターが中心となって、対象者別の生涯福祉学習プログラムを市町社協や社会福祉施設等と共同で開発をすすめた。

（１）「えにしの日・えにし週間」の実施【再掲】
＜実績報告＞
１の柱-２-（２）に同じ。

２　滋賀県社協が先導する福祉学習の取組

「誰もが暮らしやすい共生社会」の実現を目指した福祉学習を、県社協の実施する事業により先導すべく取り組んだ。

（１）「福祉ボランティア体験プログラム」の実施【再掲】
＜実績報告＞
１の柱－２－（１）に同じ。

（２）県社協の資源を活用した福祉学習の推進
＜実績報告＞
高齢者疑似体験（インスタント・シニアの実施状況
・延べ件数４９件
・参加者数１，３２３名
（学校、企業・団体等の職員研修等）

【４の柱】　子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進

１　「遊べる・学べる淡海子ども食堂」の推進

滋賀の縁創造実践センターのリーディングプロジェクトとして推進されている「遊べる学べる淡海子ども食堂」（以下「子ども食堂」という。）について、地域の中に縁を紡ぎ出す象徴的な実践として、県内に普及・定着していけるよう、事業立ち上げの際のアドバイスやコーディネート、推進のための組織づくり、持続的な運営を支える人材の育成を推進した。

① 子ども食堂の開設・運営支援
＜実績報告＞
ⅰ　子ども食堂開設支援
　　９５食堂（新規３３食堂、継続支援６２食堂）
ⅱ　開設準備講座の開催
　　・７回開催
　　・参加者数　３３６名
ⅲ　実践者研修会の開催
　　・４回開催
　　・参加者数１５４名
ⅳ　実施団体交流会の開催
　　・２回開催
　　・参加者数６０名
ⅴ　子ども食堂プロジェクトチーム会議の開催
　　・３回開催
ⅵ　子ども食堂だよりの発行
　　・４回発行
ⅶ　子ども食堂の開設・運営に関する手引き書の配布・活用（作成は２８年度）

［目標達成度：食堂数：９５箇所（実績）／８０箇所（目標値）］

２　「はぐくみ基金」の造成

・平成２９年８月２０日（日）開始

３　¨子どもの笑顔¨のスポンサー活動の推進

① 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの創設
＜実績報告＞
ⅰ　創設についての記者会見の実施（７月１８日）
ⅱ　キックオフフォーラムを開催し、スポンサー登録制度をスタート（８月２０日）
　　事業所等：１４５件、個人：２７名が登録
ⅲ　ホームページの開設

②「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」キックオフフォーラムの開催
開催日　平成２９年８月２０日（日）
参加者数：２４０名

③「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」をひろげるフォーラムの開催
第２回しが地域福祉フォーラムにて実施。１０７名参加。

④¨子どもの笑顔¨のスポンサーとして活動する仲間をひろげ、つなげるための取り組み

の推進

・登録スポンサー１４５件

・サポート金額　お金 10,630,248 円　モノ 1,676,902 円

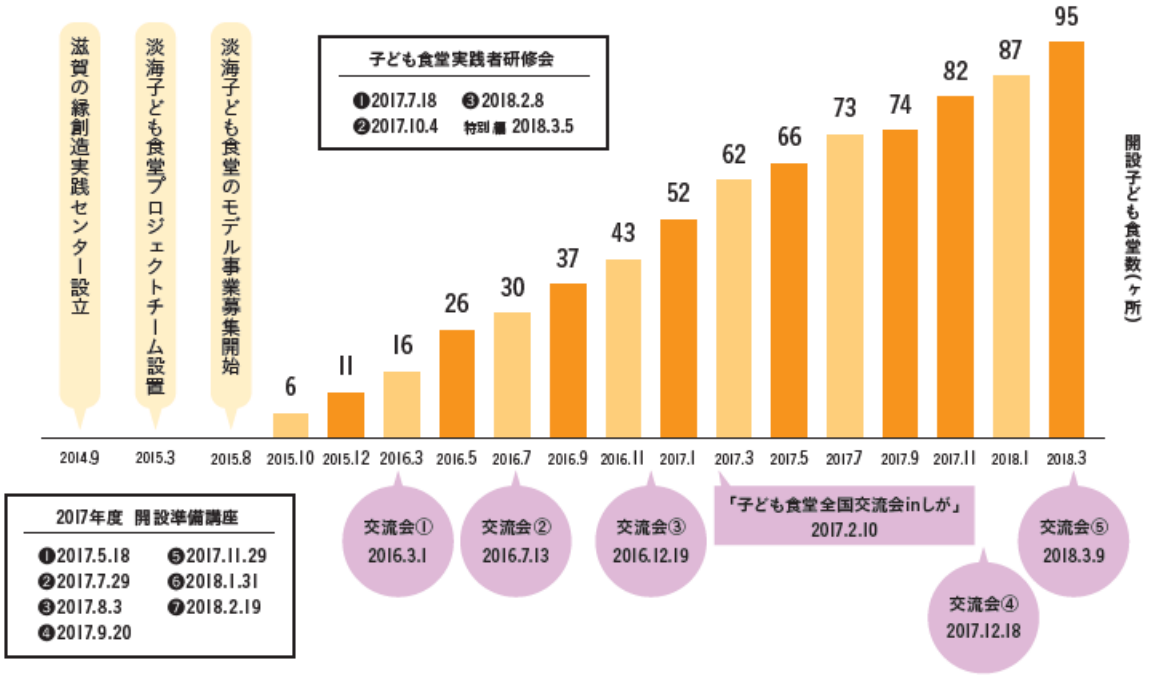
【評価】

〇子ども食堂は、開設準備講座や市町社協の初期対応相談が定着したことで、９５箇所まで広がり、認知度も高まってきている。

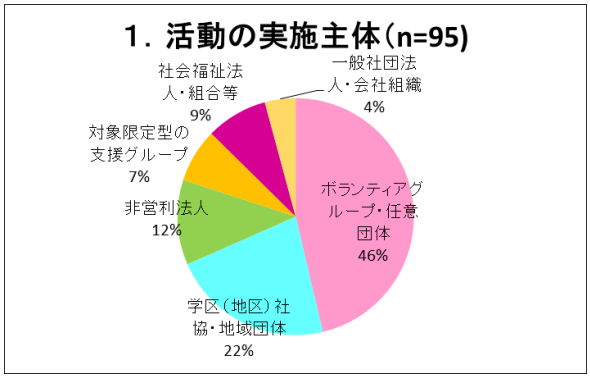
〇子ども食堂の運営上の課題の一つである安全面については、保険加入促進と食中毒予防等の取り組みをスタートさせることができた。

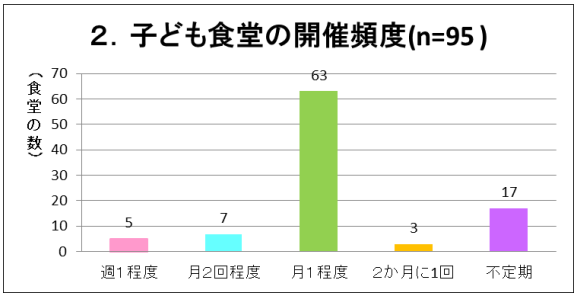
〇子どもを真ん中においた地域づくりをめざして創設した「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」は、事業所、個人の共感が広がりスポンサー登録が増えてきているが、マッチングについてはさらなる研究が必要である。

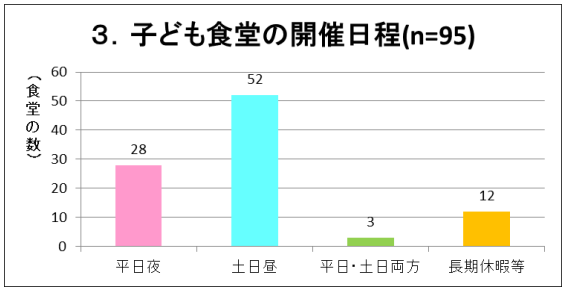
＜淡海子ども食堂の広がり＞

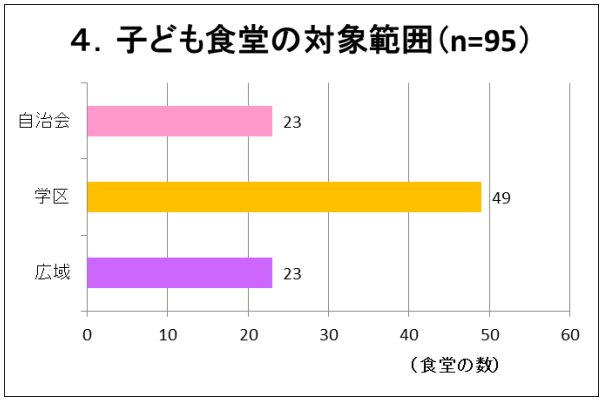


＜淡海子ども食堂の特徴＞






3．子ども食堂の開催日程(n=95)
（食堂の数）
60
50
40
30
20
10
0
28
52
3
12
平日夜
土日昼
平日・土日両方
長期休暇等


4．子ども食堂の対象範囲（n=95）
自治会
学区
広域
23
49
23
0
10
20
30
40
50
60
（食堂の数）

【５の柱】　組織基盤強化のための改革の推進
―自主的・持続的な法人経営を目指す組織の確立－

１　法人経営改革の推進

（１）法人経営ガバナンスの確立

社会福祉法の改正趣旨を踏まえ、法人組織を改変し、適正かつ効果的な運営に努めた。

①新たな理事会による法人経営の推進

・新たな定款に基づき６月に開催した評議員会で１３名の理事を選任し、理事会において新たに会長、筆頭副会長、副会長、常務理事を選出した。

・１１月に理事会を開催し、中間事業報告及び収支状況報告ならびに補正予算の編成を行った。

②監事会の充実

・新たな定款に基づき、６月に開催した評議員会で３名の監事を選任した。

・１１月に監事会を開催し、中間事業報告及び収支状況報告を行った

③評議員会の運営の充実

・新たな定款に基づき、評議員選任・解任委員会において１５名の評議員を選任した。

・１１月に評議員会を開催し、中間事業報告及び収支状況報告ならびに補正予算の編成を行った。

（２）会長の諮問機関としての部会、委員会の再構築

新たな定款に基づき、「滋賀県社会福祉協議会委員会規程」を制定し、①社会福祉有識者懇話会、②ボランティアセンター運営委員会、③レイカディア大学運営委員会、④レイカディア推進委員会、⑤滋賀県福祉用具センター運営委員会、⑥滋賀県介護・福祉人材研修センター運営委員会の６委員会に再編した。

２　経営基盤の強化

（１）経営計画と連動した人事管理制度の導入

①職員育成計画の策定

職階（主事・主任主事/主幹・副課長/課長/部長）ごとの研修計画作成を開始し、また、自己研修支援制度を創設した。

②人事管理制度の導入と試行的実施

・管理職を対象に、人事考課を実施した。

③新たな給与・賞与制度の導入についての検討

・人事考課制度と連動した新たな給与・賞与制度の導入について３月の理事会で承認を得、平成３０年度から実施することとなった。

（２）事務局機能の強化

①重点的な資源配分と業務の効率化

・グループウエアを導入し、業務スケジュール管理の効率化と情報の共有化を図り業務の効率化を図った。

・経理・会計事務の抜本的見直しは着手できていない。

②研修プログラム検討委員会の設置

・社会福祉事業従事者の研修のあり方の検討を行うため、北野誠一氏（ＮＰＯ法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長）を交えた部局横断的な検討会を設け、報告書を作成するとともに、県に提言した。

（３）新たな収益事業の開発や民間財源の開拓

・職員に自主財源に関する提案事業を募集したが、新たな収益事業の開発には至らなかった。

・収益事業の開発や民間財源の開拓に着手できなかった。

平成 29 年度事業報告（部門別）

【経営部門】

１　法人経営改革の推進

（1）法人経営ガバナンスの確立

社会福祉法の改正趣旨を踏まえ、法人組織を改変し、適正かつ効果的な運営に努めた。

①新たな理事会による法人経営の推進

・新たな定款に基づき６月に開催した評議員会で１３名の理事を選任し、理事会において新たに会長、筆頭副会長、副会長、常務理事を選出した。

・１１月に理事会を開催し、中間事業報告及び収支状況報告ならびに補正予算の編成を行った。

②監事会の充実

・新たな定款に基づき、６月に開催した評議員会で３名の監事を選任した。

・１１月に監事会を開催し、中間事業報告及び収支状況報告を行った

③評議員会の運営の充実

・新たな定款に基づき、評議員選任・解任委員会において１５名の評議員を選任した。

・１１月に評議員会を開催し、中間事業報告及び収支状況報告ならびに補正予算の編成を行った。

(2) 会長の諮問機関としての部会、委員会の再構築

新たな定款に基づき、「滋賀県社会福祉協議会委員会規程」を制定し、①社会福祉有識者懇話会、②ボランティアセンター運営委員会、③レイカディア大学運営委員会、④レイカディア推進委員会、⑤滋賀県福祉用具センター運営委員会、⑥滋賀県介護・福祉人材研修センター運営委員会の６委員会に再編した。

２　経営基盤の強化

（1）経営計画と連動した人事管理制度の導入

①職員育成計画の策定

職階（主事・主任主事/主幹・副課長/課長/部長）ごとに３年間を１クールとする研修計画を作成し、試行的に実施するとともに自己研修支援制度を創設した。

②人事管理制度の導入と試行的実施

・管理職を対象に期末勤勉手当を対象として、人事考課を実施した。

③新たな給与・賞与制度の導入についての検討

・人事考課制度と連動した新たな給与・賞与制度の導入について３月の理事会で承認を得、平成３０年度から実施することとなった。

(2) 事務局機能の強化

①重点的な資源配分と業務の効率化

・グループウエアを導入し、業務スケジュール管理の効率化と情報の共有化を図り業務の効率化を図った。

・経理・会計事務の抜本的見直しは着手できていない。

②プロジェクトチームの設置

・社会福祉事業従事者の研修のあり方の検討を行うため、北野誠一氏（ＮＰＯ法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長）を交えた部局横断的な検討会を設け、報告書を作成するとともに、県に提言した。

３　適切な法人経営業務の遂行

第１次経営計画の進捗管理や社会福祉法人制度改革への対応を進めるとともに、社会福祉法人として適切な経営を行うため、次の会務を行った。

（1）役員会等の開催

①会長・副会長会議の開催

開催日　平成２９年８月２８日（月）
会　場　センター
議　題　平成２９年度本会会長表彰および感謝状授与候補者の審査について

②理事会、監事会、評議員会の開催

【理事会】

＜第１回＞

開催日　平成２９年６月２日（金）
会　場　センター
議　題　(1)平成２８年度　事業報告（案）について
(2)平成２８年度　一般会計決算（案）について
(3)平成２８年度　生活福祉資金会計決算（案）について
(4)定時評議員会の招集について
(5)評議員候補者の選定について

＜第２回＞

開催日　平成２９年６月２０日(火)
会　場　センター
議　題　(1)会長、筆頭副会長及び副会長ならびに常務理事の選出について
(2)専決規程の制定について

＜第３回＞　決議の省略

理事会の決議があったとものとみなされる日　平成２９年８月１日(火)
理事会の決議があったものとみなされる事項の内容
(1)監事の補充選任に伴い、評議員会に提出する候補者の選任を求めることに　ついて
(2)評議員の補充選任に伴い、評議員選任・解任委員会に提出する候補者の選任を求めることについて

＜第４回＞

開催日　平成２９年１１月２１日（火）
会　場　滋賀県赤十字血液センター
議　題　(1)滋賀県社会福祉協議会第一次経営計画の一部変更について
(2)平成２９年度滋賀県社会福祉協議会事業計画の一部変更について
(3)社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会　はぐくみ基金設置及び管理規程」の制定について
(4)平成２９年度滋賀県社会福祉協議会第一次補正予算（案）について
(5)平成２９年度第３回評議員会の招集について
報　告　(1)平成２９年度上半期の事業の執行状況について
(2)平成２９年度上半期の資金収支状況について
(3)定款第１９条第５項に基づく会長、筆頭副会長、常務理事の職務執行状況について

＜第５回＞

開催日　平成３０年３月２３日（金）
会　場　センター
議　題　(1)平成２９年度　一般会計第二次収支補正予算（案）について

(2)平成２９年度　生活福祉資金会計第二次収支補正予算（案）について
(3)平成３０年度　事業計画（案）について
(4)平成３０年度　一般会計収支予算（案）について
(5)平成３０年度　生活福祉資金会計収支予算（案）について
(6)平成３０年度　資産運用計画（案）について
(7)経理規程の改正について
(8)給与規程の改正について
(9)滋賀県社会福祉協議会の呼称及びロゴマークの制定について
(10)理事候補者の選定について
(11)平成２９年度　第４回評議員会の招集について

報　告　(1)会長の専決事項について
(2)会長、筆頭副会長、常務理事の職務執行状況について

＜第６回＞　決議の省略
理事会の決議があったとものとみなされる日　平成３０年３月３０日(金)
理事会の決議があったものとみなされる事項の内容
(1) 定款第25条第１項第３号の規定に基づく筆頭副会長の選定

【監事会】
＜第１回＞
開催日　平成２９年５月２３日（火）
会　場　センター
議　題　(1)事業報告等（理事の業務執行状況、法人の業務執行状況）の監査
(2)計算関係書類及び財産目録の監査

＜第２回＞
開催日　平成２９年１１月８日（水）
会　場　センター
議　題　(1)平成２９年度中間事業報告について
(2)平成２９年度中間決算について

【評議員会】
＜第１回＞
開催日　平成２９年６月１９日（月）
会　場　センター
議　題　(1)平成２８年度事業報告(案)について
(2)平成２８年度　一般会計決算（案）について
(3)平成２８年度　生活福祉資金会計決算(案)について
(4)第３４期理事及び監事の選任について
(5)役員等報酬規程の制定について
(6)会員規程の一部改正について

＜第２回＞　決議の省略
評議員会の決議があったとものとみなされる日　平成２９年８月１７日（木）
評議員会の決議があったものとみなされる事項の内容
(1)監事の補充選任について

＜第３回＞
開催日　平成２９年１１月２９日（水）
会　場　センター
議　案　(1)滋賀県社会福祉協議会第一次経営計画の一部変更について
(2)平成２９年度滋賀県社会福祉協議会事業計画の一部変更について
(3)平成２９年度滋賀県社会福祉協議会第一次補正予算（案）について

報　告　(1)成２９年度上半期の事業の執行状況について
(2)平成２９年度上半期の資金収支状況について

＜第４回＞
開催日　平成３０年３月２７日（火）
会　場　センター
議　案　⑴平成２９年度　一般会計第二次収支補正予算（案）について
⑵平成２９年度　生活福祉資金会計第二次収支補正予算（案）について
⑶平成３０年度　事業計画（案）について
⑷平成３０年度　一般会計収支予算（案）について
⑸平成３０年度　生活福祉資金会計収支予算（案）について
⑹滋賀県社会福祉協議会の呼称及びロゴマークの制定について
⑺理事の選任について

③評議員選任・解任委員会の開催
＜第１回＞
開催日　平成２９年６月１２日（月）
会　場　センター
議　題　⑴第３４期滋賀県社会福祉協議会評議員の補充選任について
＜第２回＞
開催日　平成２９年９月６日（水）
会　場　センター
議　題　⑴第３４期滋賀県社会福祉協議会評議員の補充選任について

⑵　プロジェクトチームの設置・運営
①「社会福祉従事者研修のあり方に関する検討に向けた検討会」の開催
＜第１回＞
開催日　平成２９年４月２０日
会　場　センター
内　容　⑴研修の現状について
⑵検討会に向けた論点整理
⑶検討会について
＜第２回＞
開催日　平成２９年６月２日
会　場　センター
内　容　⑴検討にあたっての基本的な整理について
⑵意見交換
⑶次回検討会に向けた作業の進め方について
＜第３回＞
開催日　平成２９年７月４日
会　場　センター
内　容　⑴新たな研修体系の構築について
⑵意見交換
⑶次回検討会に向けた作業の進め方について
検討会メンバー
北野　誠一（ＮＰＯ法人おおさか地域生活支援ネットワーク　　理事長）
中島　秀夫（滋賀県障害者自立支援協議会　　事務局長）
渡邉　光春（会長）
奥山　光一（事務局長）
馬場　八州男（総括次長（兼）経営部門長）
谷口　郁美（次長（兼）事業部門長）
植田　重一郎（人材部門長（兼）介護・福祉人材センター所長）
猪飼　立子（介護・福祉人材センター　福祉研修センター課長）

奥村　昭（法人経営担当課長）

＜第４回＞
開催日　平成２９年７月２６日
会　場　センター
内　容　(1) 新たな研修体系の構築について
(2)意見交換
(3)次回検討会に向けた作業の進め方について
＜第５回＞
開催日　平成２９年８月２３日
会　場　センター
内　容　(1) 滋賀県社会福祉協議会における社会福祉研修のあり方検討会
中間報告（素案）について
(2)意見交換
(3)次回検討会に向けた作業の進め方について

②「(仮称) 滋賀県社会福祉研修センター研修プログラム検討委員会委員会」の開催
＜準備会＞
開催日　平成３０年１月２９日（月）
会　場　センター
内　容　(1)本会が実施する社会福祉研修の現状と課題
(2)研修プログラム見直しに向けた議論の方向性
(3)上記を踏まえたディスカッション
＜第１回＞
開催日　平成３０年３月１４日（水）
会　場　センター
内　容　(1)社会福祉共通必須研修、専門職以外の権利擁護支援者養成研修について
(2)上記についての意見交換

【委員名簿】

	氏　名	所属・職名	備　考
1	北野　誠一	ＮＰＯ法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長	委員長
2	新崎　国広	大阪教育大学教育学部教育協働学科　教授	
3	村橋　　功	桃山学院大学社会学部社会福祉学科　准教授	
4	前川　　敦	一般社団法人ふせ支援ネットワーク　代表者	
5	空閑　浩人	同志社大学社会学部社会福祉学科博士後期課程　教授	
6	永田　　祐	同志社大学社会学部社会福祉学科　准教授	
7	高井　由起子	関西学院大学教育学部教育学科　准教授	
8	市川　忠稔	滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課　課長	
9	橋本　弘三	滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課介護人材確保係課長補佐	

(3) 事務事業の見直し
・経理・会計事務を抜本的に見直すことはできなかった。

４　新たな収益事業の開発や民間財源の開拓

・職員に自主財源に関する提案事業を募集したが、新たな収益事業の開発には至らなかった。
・検討チームによる収益事業の開発や民間財源の開拓は実施できなかった。

５　広報の充実

(1) 福祉情報の発信方法の見直し
・本会機関誌である「福祉しが」やホームページを見直し、本会のメッセージや、本会事業、社会福祉関係情報の迅速かつ効果的な発信に努めるべく、見直しの検討を行ったが、完成にはいたらず、次年度に持ち越すこととなった。

６　災害時等にも迅速かつ的確に機能する体制の維持

(1) 事業継続計画に基づく大規模災害発生時の事務局体制維持訓練の実施
・実施できなかった。
(2) 事業継続計画の点検・見直し
・実施できなかった。
(3) 近畿ブロック府県社協との連絡調整
・ブロック内で連絡・調整が必要な災害しなかった。

７　第３回滋賀県社会福祉大会の開催

本県の社会福祉事業と地域福祉の推進へ功績に対して本会会長が表彰を行うとともに、滋賀県の地域福祉の一層の推進を図ることを目的として開催した。

開催日　平成２９年１０月３１日（火）
会　場　栗東芸術文化会館さきら
【表彰・顕彰】滋賀県社会福祉大会表彰式の開催
（被表彰者）

民生委員児童委員功労者	４名
社会福祉事業功労者	８６名
ボランティア功労者	３名
ボランティアグループ	９団体
社会貢献活動・ボランティア活動功労企業・団体	２社
福祉活動推進校	２校
感謝（社会福祉協力者）	６社・団体
感謝（社会福祉法人）　１法人	
第３５回滋賀県社会福祉学会奨励賞	５名
「滋賀の縁」認証ならびに奨励プレート	１３団体（認証４団体・奨励９団体）

なお、全国社会福祉協議会会長表彰には下記のとおり推薦を行った。
＜本会から推薦を行い受賞された内訳＞
民生委員児童委員功労者５名、社会福祉施設功労者４名、社協・団体功労者６名、永年勤続功労者１４名、社会福祉協議会優良活動１社協

８　市町社会福祉協議会との連携と協働

社会福祉法人制度改革に対応するために、情報の共有と実務課題を検討するとともに、随時、情報提供と相談対応を行った。

（１）市町社会福祉協議会常務理事・事務局長会議の実施
開催日　平成２９年４月１７日（月）
会　場　センター
内　容　⑴平成２９年度 滋賀県社会福祉協議会事業計画について
⑵平成２９年度 滋賀県社会福祉協議会事務局体制について
⑶各部所より
⑷社会福祉法人制度改革について～各社協の状況と今後の対応について
参加者　１９名

（２）市町社会福祉協議会総務・法人経営担当会議の開催
＜第１回＞
開催日　平成２８年７月３１日（月）
会　場　センター
内　容　⑴ 社会福祉法の改正に伴う今後の実務について
⑵改正個人情報保護法への対応について
⑶各社協の総務・法人経営担当の実務における当面の課題について
⑷今後の会議の持ち方について
参加者　２９名
＜第２回＞
開催日　平成２９年１２月７日（木）
会　場　センター
内　容　「社協経営のための財務分析」
講師：滋賀県社会福祉協議会　総括次長　馬場　八州男
参加者　２８名

９　社会福祉事業・社会福祉を目的とする事業への支援

（１）社会福祉法人経営労務管理改善等支援事業の実施
社会福祉法人制度改革に伴う労務管理、財務規律の強化に対応するとともに、地域における公益的な取組に資するために、社会福祉法人の経営改善等に関して専門相談員による助言指導と集団指導を行った。
①専門相談の実施
・専門相談員　上西祥之会計事務所　所長　上西祥之
・相談件数・・・１件（経営分析と改善の方向性に関する専門相談）
②「社会福祉法人人事労務セミナー」の開催
開催日　平成２９年１１月２２日（水）
会　場　センター
内　容　２０１８年４月に改正労働契約法により開始される、有期契約職員の無期雇用転換制度のポイントと対応策について
参加者　１３９名
③「社会福祉充実計画策定セミナー」の開催
開催日　平成３０年３月８日（木）
会　場　センター
内　容　社会福祉充実残額算定式の解説・注意点、充実計画の具体的な実施事業の内容について
参加者　５８名
④「社会福祉法人監事研修会」の開催
開催日　平成３０年３月１５日（木）
会　場　センター
内　容　社会福祉法人制度改革における監事の基本的な役割と知識について

参加者　１０４名

（２）社会福祉法人経営者セミナーの開催

＜上期＞

開催日　平成２９年７月１０日（月）

会　場　センター

内　容　⑴講義「要チェック！改正社会福祉法施行後の法人経営」

（講師）全国社会福祉法人経営者協議会　副会長　　武井　敏

⑵説明「『知らない』では済まされない！指導監査ガイドライン徹底解説」

（説明者）全国社会福祉法人経営者協議会事務局

参加者　１０３名

＜下期＞

開催日　平成３０年１月３１日（水）

会　場　センター

内　容　⑴講義１「ここで差がつく！明日からの社会福祉法人経営

～伝えたい3つのこと～」

（講師）　全国社会福祉法人経営者協議会

制度・政策委員会　副委員長　山田　雅人

⑵講義２「時代を先取りした最新情報をキャッチ」

（説明者）全国社会福祉法人経営者協議会 事務局

⑶実践発表・事例解説

「明日からこれで取り組める！

～地域における公益的な取組の極意を教えます」

（実践発表・進行）全国社会福祉法人経営者協議会

制度・政策委員会　専門委員　村木　宏成

（実践発表）社会福祉法人しがらき会　信楽青年寮　　岩永　信也

参加者 ８７名

（３）各種助成を通した事業・活動支援

本会が設置する基金による助成事業の実施、他団体の助成事業に関する情報提供やと助成相談により、社会福祉事業や公益的な事業を支援した。

①滋賀県民間社会福祉施設整備運営資金の運営

＜審査会（委員会）＞

開催日　　平成２９年８月２４日（木）

会　場　　センター

貸付数　　４件（合計３０，０００，０００円・保育所２法人、障害者就労支援２法人）

②民間福祉団体等が行う地域福祉活動振興基金（内藤基金）の助成

＜助成審査会＞

開催日　　平成２９年７月２０日（木）

会　場　　センター

申請数　　９件

採択数　　３件（合計９８０，０００円）

※４件採択のうち１件辞退があった

③他助成団体が実施する助成事業への協力

ⅰ　ダイトロン福祉財団障害者福祉助成審査への協力（４月）

・助成総額　２５，６００，０００円

団体名	事業内容	助成金額
日野町立南比都佐小学校	「なんぴっこ」ふれあい学習	400, 000円
滋賀県立水口高等学校	水口の福祉･伝承文化の三世代間交流～もっと地域の福祉について知ろう！～	180, 000円
大津市立下坂本小学校	下坂本小学校の系統だった障がい児者理解教育の構築	400, 000円

ⅱ　滋賀県遊技業協同組合福祉車両助成推薦への協力

・助成台数　３台

ⅲ　オージス総研から「はじまるくんパソコン」寄贈への協力

・滋賀県児童成人福祉施設協議会に推薦依頼（５台）

・滋賀県社会福祉協議会から推薦（１台）

・寄贈台数：６台

ⅳ　大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」への協力

ⅴ　２４時間テレビ『福祉車両贈呈』への推薦協力

・寄贈台数３台

ⅵ　滋賀トヨタ自動車株式会社・ネッツトヨタ滋賀株式会社「福祉巡回車輌贈呈」への推薦協力

・滋賀県老人福祉施設協議会と滋賀県児童成人福祉施設協議会に推薦依頼

・寄贈台数：２台

ⅶ　「しがぎん福祉基金」の助成の取りまとめと審査協力

・平成２８年度事業助成分　８件

・助成総額　６，６２０，０００円

ⅷ　財団法人河本文教福祉振興会助成事業への推薦協力

（物品助成）滋賀県児童成人福祉施設協議会に推薦依頼

（車両助成）滋賀県老人福祉施設協議会（４台)、滋賀県児童成人福祉施設協議会（３台)、滋賀県社会福祉法人経営者協議会（５台)、滋賀県（障害福祉課）（１台）に推薦依頼（総数１３台）

ⅸ　第５１回ＮＨＫ福祉大相撲　車両「福祉相撲号」寄贈への推薦協力

・滋賀県老人福祉施設協議会と滋賀県児童成人福祉施設協議会に推薦依頼

・寄贈台数：１台

※上記の他、助成金情報は、滋賀県社会福祉協議会のホームページの「助成金情報」に随時掲載し、情報提供した。

１０　福祉関係者との連携と協働

（１）社会福祉施設等関係団体との協働

次の社会福祉施設団体の事務局として各団体の運営に協力するとともに、事業が円滑に実施されるよう支援した。

①滋賀県老人福祉施設協議会

②滋賀県児童成人福祉施設協議会
③滋賀県社会福祉法人経営者協議会

（２）滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会による提言活動の実施

滋賀県地域福祉施策検討委員会を滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会へと名称変更し、市町社会福祉協議会、施設協議会、関係福祉団体など関係者とともに喫緊の福祉課題について認識を共有し、予算要望及び提案を協働で行った。

①委員会の開催

＜第１回＞

開催日　平成２９年７月３日（月）
会　場　センター
内　容　(1)滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会への名称変更について
(2)会長の選任について
(3)今後の進め方について

＜第２回＞

開催日　平成２９年８月３０日（水）
会　場　滋賀県赤十字血液センター
内　容　(1)各団体からの要望（提案）事項について
(2)協議会の共通要望（提案）の取り扱いについて
(3) 今後の進め方について

②「平成３０年度に向けた社会福祉施策・予算等要望書」の提出及び意見交換会への出席

＜滋賀県健康医療福祉部長への要望＞

開催日　平成２９年１０月１７日（火）
会　場　滋賀県庁北新館会議室

＜自由民主党滋賀県議会議員団への要望＞

開催日　平成２９年１１月１６日（木）
会　場　滋賀県庁２階　議員室

＜滋賀県議会　チームしが　県議団への要望＞

開催日　平成２９年１１月１７日（金）
会　場　滋賀県庁２階　第５委員会室

１１　県立長寿福祉センターの適切な管理運営

当センターを誰もが利用しやすい施設となるよう努めるとともに、利用者ニーズを把握し、利用者に対するサービス向上、利用促進を図り、適切に管理に努めた。

また、設置者である滋賀県と緊密に連携して施設設備の経年使用に伴う劣化や老朽化に計画的に対処した。

（１）特定施設の利用実績

施設の有効活用として、約８５，０００名の方にご利用いただいた。

また、陶芸室については、前年度比１２９パーセント増となり、全体では１０２パーセント増となる。

＜特定施設の利用件数、利用者数の本年度累計＞

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第１教室	調理室	第２教室
件数（件）	163	185	185	188	204	63	155
人数（名）	28,598	5,520	4,880	4,945	4,855	1,483	3,430
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
件数（件）	210	266	232	189	212	2,301	
人数（名）	3,104	18,044	3,371	3,342	4,242	85,814	

（２）特定施設の稼働実績

調理室を除くすべての特定施設で稼働率が向上し、施設の有効活用の目標６１．１％を達成した。

＜特定施設の本年度稼働率＞

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第１教室	調理室	第２教室
稼働率	53.8%	79.9%	62.3%	63.3%	69.6%	21.6%	52.7%
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
稼働率	70.2%	91.1%	75.8%	62.4%	70.0%	64.1%	

（３）貸室ポータルサイトの運営

貸室を利用したい、貸室の概要を知りたいといった方々にむけて、貸室の予約空き状況など利用いただくために必要となる情報や関連する情報を、誰もがいつでも手軽かつ簡単に閲覧いただけけるようポータルサイトを運用した。

閲覧数　　延べ２０５，０００件　平成３０年３月末日現在

（４）センター保全に伴う修繕作業及び改修工事

①非常用発電設備定常修繕
②テクノハウス自動ドア修理
③誘導灯用信号装置バッテリー交換
④縦管内の清掃
⑤天井雨漏れに伴う金属屋根一部シーリング工事
⑥東事務棟１階身障者トイレ排水管詰り修理
⑦駐車場周辺樹木の剪定
⑧空調機器修理

（５）消防訓練の実施

緊急事態発生時の来館者等の安全確保や財産の保全と被害軽減のため全来館者を対象に実施した消防訓練を実施した。

実施日　平成２９年１２月２７日（水）

＜資金担当＞

１　生活福祉資金貸付事業を通じた生活困窮者支援活動の実施

市町社協、民生委員児童委員、市町行政等生活困窮者自立支援法による相談支援関係団体等との連携を図り、貸付を通じた相談支援を行った。

（1）　生活福祉資金等の貸付による相談支援の充実

①　滋賀県貸付審査等運営委員会の開催　　年間１２回開催（毎月定例）

②　生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の周知、制度利用の促進

・生活福祉資金啓発パンフレットの配布

・民生委員児童委員研修、福祉事務所ケースワーカー研修会等での生活福祉資金の説明

③　生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の貸付による相談支援活動の充実

総合支援資金、福祉資金（福祉費、緊急小口資金）、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付

別表１　生活福祉資金等貸付決定状況

④　自立相談支援と連携した相談支援の強化

県域の支援調整会議において、個別ケースにおける支援調整支援等を行った。

（2）　生活福祉資金等の償還促進を通じた相談支援の充実

①　生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の債権管理の実施

別表２・３「生活福祉資金等　貸付中件数・金額」

別表４「生活福祉資金等　貸付支出に対する償還の割合」

②　長期滞納者の督促等による債権管理の強化

・借受世帯の状況把握と対応（住所・氏名等の変更、債務整理等）

・長期滞納者への督促

５月　３，４２１通　　１１月　３，４９８通

③　滞納者への相談支援

実務研修会等で滞納世帯に対する支援の状況等を共有し、現在実施している業務の見直し等の検討と平行して、支援等のあり方について検討した。

④　借受世帯の状況把握及び個別相談支援

借受世帯への個別対応・支援を行うため、市町社協と連携し、面談や電話相談等を通して、借受世帯の状況を把握し個別の対応や支援を行った。

⑤　行方不明者の居住地調査の実施

対象	新住所判明	異動なし	死亡	行方不明
３６３人	２８６人	５４人	１０人	１３人

（3）　社会的孤立･生活困窮から住民を守るための支援をすすめる専門的人材の育成および関係機関・団体との連携

①　実務研修・ケース検討会の開催

・生活福祉資金実務研修会の開催（新任担当職員研修）

開催日　平成２９年　６月２７日（火）

会　場　センター

内　容　生活福祉資金の動向と課題について

生活福祉資金の制度概要と留意事項について

償還・債権管理について
参加者　１６人

・生活福祉資金貸付事業研究協議会の開催（２回）

１回目

開催日　平成２９年　９月１４日（木）
会　場　センター
内　容　<制度説明>
「奨学金制度を有効活用して学習支援しよう
～各種奨学金制度を知る・活用する～」
・県奨学資金貸付制度、高校生等奨学給付金制度等
県教育委員会事務局教育総務課
・高等学校等就学支援金、私立高校特別就学補助金等
県総務部私学・大学振興課
・母子父子寡婦福祉資金貸付制度等
県健康医療福祉部子ども・青少年局
・保育士修学資金、介護福祉士修学資金等
県介護・福祉人材センター
<グループ討議>
「教育支援資金の課題等について」
参加者　　１６人

２回目

開催日　平成３０年　１月３０日（火）
会　場　センター
内　容　<事例研究>
「生活困窮者の生活課題解決に向けての関係機関との連携
～生活福祉資金貸付事業を通して～」
【事例提供】彦根市社会福祉協議会　門脇　賀世子さん
<グループ討議>
討議テーマ「関係機関との連携についての課題と対応」
参加者　１３人

②　市町民生委員児童委員協議会、県・市町行政、ハローワーク等の関係機関・団体との連携促進

・市町(単位)民生委員児童委員協議会、市町社協、福祉事務所、支援調整会議等における制度説明

・全社協・生活福祉資金貸付事業運営委員会への参画
近畿ブロック代表：本会事務局長

２　児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施

児童養護施設や自立支援ホーム等を退所し就職や進学する者が、安定した生活基盤を築き、円滑な自立が図れることを目的とした貸付事業を実施した。

（1）　児童養護施設退所者等自立支援貸付事業の実施

資格取得支援費　　１件　　２５０，０００円

【事業部門】

＜地域福祉担当＞

経 **１　滋賀の縁創造実践センターとの協働による地域福祉の実践**

（１）「滋賀の縁」認証事業

・「滋賀の“縁”」認証にふさわしい実践を積極的に発掘し、ヒアリング等による情報を集め、実践の要点をまとめ認証委員会へ推薦した。

・県社協全部門で取組み、職員学習会で現場の志と実践の姿勢を学んだうえで、１９の活動を調査し、県との共同により１３団体推薦した。

・滋賀県社会福祉大会において認証・奨励プレートを贈呈した。

認証４活動、奨励９活動

・実践現場で学んだことを「ひたすらなるつながり活動事例集」として内容をまとめ、関係団体等に配布した。

発行部数　　５００部

経 （２）遊べる学べる淡海子ども食堂推進事業の推進

子ども食堂実施団体の“現場の声”や、企業・団体へのテーマの投げかけ、議会への提案や具体的な調整を行い、平成２９年度から始まる応援団活動の下準備を進めた。

① 子ども食堂を下支えする応援団としてのフードバンク的な仕組みづくり

・仕組みについての検討の結果、子どもを真ん中においた地域づくり・子どもの笑顔はぐくみプロジェクトを開始した。

開始　平成２９年８月２０日（日）

・子どもの笑顔はぐくみプロジェクト　キックオフフォーラムの開催

開催日　平成２９年８月２０日（日）

会場　　ピアザ淡海

内容　　・ハグ♥トーク

（登壇者）三日月　大造（滋賀県知事）

湯浅　誠（社会活動家・法政大学教授）

北川　陽子（ファブリカ村　村長）

・子ども食堂　リレートーク

（登壇者）日野こども食堂　武藤　悦子、中西　優衣

「日野こども食堂ひまわりカフェ」

若葉町自治会・ビアンネ　杉山　泰子

「出会い食堂♥よっといで～♥」

ビハーラ彦根　漢見　覚恵

「ビハーラ子ども食堂」

・はぐプロ紹介

参加者　２４０名

・スポンサーの登録促進

登録スポンサー数　１４５件（事業所等１１８件、個人２７件）

お金でのサポート　３９件、10,630,248円（商品券等含む）

モノでサポート　１６件

1,676,902円相当（キャベツ・じゃがいも等の野菜、図鑑・絵本、文房具類等）

県民等への情報発信

①リーフレットの作成　６，０００部

②Facebookページにおける情報発信

③公式ホームページにおける情報発信

② 子ども食堂の開設・運営支援

・子ども食堂の立ち上げにかかる経費の助成を行った。

開設数　９５食堂（継続６２食堂、新規３３食堂）

助成数　９３食堂　合計1,260万円

現地訪問数　５４食堂

・米や野菜など大口の寄付申出に対する調整を行った。

・子ども食堂を始めてみたい方、関心のある方を対象に各圏域をまわり、計７回開催　し、参加者数延べ３３６名のうち、２０食堂４８名が実際に子ども食堂の開設につながった。

＜第１弾＞

開催日　平成２９年５月１８日（木）

会　場　ラポール秦荘いきいきセンター

内　容　実践報告「ビハーラ子ども食堂」

（報告者）ビハーラ彦根　漢見　覚恵

「湖北子ども食堂　Liaison（リエゾン）」

（報告者）任意団体リエゾン　代表　北居　理恵

参加者　７４名

＜第２弾＞

開催日　平成２９年７月２９日（土）

会　場　安曇川公民館　ふじのきホール

内　容　実践報告「出会い食堂♥よっといで～♥」

（報告者）若葉町自治会・ビアンネ　代表　杉山　泰子

「ながはまこども食堂」

（報告者）ながはまこども食堂　舞靏　正吉

参加者　７９名

＜第３弾＞

開催日　平成２９年８月３日（木）

会　場　水口社会福祉センター

内　容　実践報告「たんぽぽ食堂」

（報告者）伴谷たんぽぽの会　奥村　美津代

参加者　４０名

＜第４弾＞

開催日　平成２９年９月２０日（水）

会　場　米原地域福祉センター

内　容　実践報告「湖北子ども食堂　Liaison（リエゾン）」

（報告者）任意団体リエゾン　代表　北居　理恵

「こどもの居場所「まんま」」

（報告者）北郷里子どもの居場所をつくろうの会

田中　裕子

参加者　３２名

＜第５弾＞

開催日　平成２９年１１月２９日（水）

会　場　明日都浜大津

内　容　実践報告「日吉台子ども食堂」

（報告者）日吉台学区社会福祉協議会　呉屋　之保

「ぜぜ子ども食堂」

（報告者）ぜぜ子ども食堂運営委員会　西田　賢一

参加者　３５名

＜第６弾＞
開催日　平成３０年１月３１日（水）
会　場　ウイングプラザ
内　容　実践報告「にじの家サロンこども食堂＆寺子屋」
（報告者）しが健康医療生活協同組合　　山崎　勇一
「子ども食堂ひがしっこ」
（報告者）吉身東町自治会　小西　由美子
参加者　４７名
＜第７弾＞
開催日　平成３０年２月１９日（月）
会　場　能登川コミュニティセンター
内　容　実践報告「ほのちゃん食堂」
（報告者）社会福祉法人ほのぼの会　竹内　正世
「日野こども食堂ひまわりカフェ」
（報告者）日野子ども食堂　武藤　悦子　中西　優衣
参加者　２９名

・子ども食堂実践者がともに学び合う場としての実践者研修会を開催した。
＜第１回＞
テーマ　運営の継続・応援団づくり
開催日　平成２９年７月１８日（火）
会場　　センター
講師　特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば
理事長　村井　琢也
こどもソーシャルワークセンター　代表　幸重　忠孝
参加者　１９食堂４９名
＜第２回＞
テーマ　子どもとの関わり方
開催日　平成２９年１０月４日（水）
会場　　滋賀県婦人会館
講師　　こどもソーシャルワークセンター　代表　幸重　忠孝
参加者　１７食堂３５名
＜第３回＞
テーマ　子ども食堂で役立つレシピ★調理法を学ぼう！
開催日　平成３０年２月８日（木）
会場　　センター
講師　　大阪ガスクッキングスクール講師
参加者　１０食堂３２名
＜特別編＞
テーマ　正しく知ろう！食物アレルギー
開催日　平成３０年３月５日（月）
会場　　甲賀市立水口中央公民館
講師　滋賀県立小児保健医療センター
小児主任部長兼診療局長　楠　隆
看護師　笹畑　美佐子
参加者　８食堂３８名

・子ども食堂実施団体同士の交流会を開催した。
＜第１回＞
開催日　平成２９年１２月１８日（月）
会　場　庵
参加者　９食堂３５名
＜第２回＞
開催日　平成３０年3月９日（金）
会　場　安土コミュニティセンター
参加者　１２食堂２５名

・市町社協子ども食堂支援者研修会（地域福祉・ボランティア担当者研修会）を開催した。
開催日　平成２９年１１月２０日（月）
会場　　センター
講師　　京都ノートルダム女子大学　現代人間学部　准教授　酒井　久美子
こどもソーシャルワークセンター　代表　幸重　忠孝
実践報告　東近江市社会福祉協議会　地域福祉課　主幹　金子　泉美
参加者　１５名

・「遊べる・学べる淡海子ども食堂をはじめてみよう！」を配布・活用した。
作成部数　２，０００部

・「子ども食堂だより」を作成・配布した。
＜vol.１＞　平成２９年７月発行
＜vol.２＞　平成２９年８月発行
＜vol.３＞　平成２９年１１月発行
＜vol.４＞　平成３０年１月発行

（３）　児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり事業の推進
①　ハローわくわく仕事体験事業
・協力事業所の開拓をすすめた。
協力企業・事業所数　１３３企業・事業所（新規開拓３７企業・事業所）
・協力事業所での就労体験を実施した。
中高生　延べ１２０名
・協力事業所での見学を実施した。
小学生　延べ５９名
・就労体験に向けたキャリアアップセミナーを開催した。
＜第１回＞
開催日　平成２９年７月９日（日）
場所　ウイングプラザ
内容　≪ビジネスシミュレーションゲーム≫『いきいきゲーム』に挑戦！！
～楽しみながら社会の仕組みや仕事について学び
自分の得意を発見しよう！～
参加者　中高生３０名、職員１８名
＜第２回＞
開催日　平成２９年１２月３日（日）
場所　　特別養護老人ホームゆいの里
内容　　みんなでワイワイ楽しもう！ホワイトボード・ミーティング®
コミュニケーション力をアップし「働くこと」や
自分の未来について考えよう！

参加者　小学生３４名、職員２２名

・就労体験に向けたプロフェッショナルセミナーを開催した。

＜第１回＞

開催日　平成２９年６月４日（日）

場所　　ビバシティ彦根

内容　　企業からのプレゼンテーションとグループで企業の皆さんと児童交流

（話し手）株式会社　びわ湖タイル　代表取締役　中野　光一

株式会社　古川与助商店　代表取締役　河村　朱美

有限会社　アップＵ彦根　代表取締役　上西　信昭

株式会社　国荘　びわ湖花街道

社長室室長　高野　健一郎

株式会社　安土建築工房　専務取締役　小南　一樹

参加者　中高生３７名、職員２６名、企業７社職員」８名

＜第２回＞

開催日　平成２９年１１月１２日（日）

場所　大津市勤労者福祉センター

内容　　企業からのプレゼンテーションとグループで企業の皆さんと児童交流

（話し手）有限会社　アップＵ彦根　代表取締役　上西　信昭

株式会社　エフアイ　研修コーチ　田中　明音

株式会社　ピアライフ　貸付管理事業部　大川　葵

宮川バネ工業　株式会社　専務取締役　宮川　絵理子

社会福祉法人　若竹会　統括部長　大橋　栄志

株式会社　村田自動車工業所　代表取締役社長　村田　健二

参加者　中高生２５名、職員１７名、企業１０社１４名

＜第３回＞

開催日　平成３０年２月４日（日）

場所　　近江八幡市文化会館

内容　　企業からのプレゼンテーションとブースに分かれてグループで企業の皆さんと児童交流

（話し手）株式会社　大槻シール印刷　代表取締役　大槻　裕樹

大槻　美佐子

株式会社　ピアライフ　賃貸管理事業部　大川　葵

賃貸管理事業部　梨本　恵未

滋賀県立琵琶湖博物館　学芸委員　澤邊　久美子

犬上ハートフルセンター　課長　後藤　元秀

課長　松村　博之

宮川バネ工業株式会社　代表取締役　宮川　草平

専務取締役　宮川　絵理子

株式会社　安土建築工房　専務取締役　小南　一樹

株式会社エフアイ　総務　杉本　有紀

研修コーチ　田中　明音

さいとう助産院　院長　齊藤　智孝

松尾バルブ工業株式会社　専務取締役　松尾　直樹

ひむれ乳児保育所　所長　吉弘　弥生

主任保育士　福永　智美

保育士　木下　宏子

株式会社まちおこし　代表取締役　西川　興
株式会社和た与　代表取締役　小川　与志和
参加者　中高生３１名、職員２０名、企業１２社２０名

② 啓発活動
・企業向けニュースレターを発行した。
発行回数　２回
・企業・児童向けニュースレターを発行した。
発行回数　１回
・啓発グッズの作成
ほっとスポット啓発冊子、マグネット　等

③ 退所後の居場所「ほっとスポット」開設
ほっとスポットこばと
開始時期　29年9月
実施主体　社会福祉法人小鳩会

ほっとスポット四つ葉カフェ
開始時期　29年9月
実施主体　認定特定非営利活動法人四つ葉のクローバー

（４） 第３回地域福祉フォーラムの開催
開催日　平成２９年１０月３１日(火)
場所　栗東文化芸術会館　さきら
内容　基調講演「子どもを真ん中おいた地域づくりから見えたこと」
特定非営利活動法人　暮らしづくりネットワーク北芝
事務局長　池谷　啓介
はぐプロスポンサーによるはぐトーク「子どもの笑顔をはぐくむためにわたしたちができること～気づいた人がともに実践～」
宮川バネ工業株式会社　専務取締役　宮川　絵理子
特別養護老人ホーム　カーサ月の輪　施設長　日比　晴久
子どもの居場所まんま　田中　裕子
コメンテーター　特定非営利活動法人　暮らしづくりネットワーク北芝
事務局長　池谷　啓介
コーディネーター　滋賀子育てネットワーク　顧問
大谷大学　文学部　社会学科　教授　山下　憲昭
参加者　１０７名

経　**２　市町社協や団体等との協働による地域福祉の実践**

（１）市町社協や社会福祉法人との連携・協働の推進

①滋賀の縁塾「多職種連携チームづくり」と連動した実践者および支援者交流会の実施

（講師）同志社大学　社会学部　教授　　上野谷　加代子
同志社大学　社会学部　准教授　　野村　裕美

＜テーマ＞「多職種連携のチームづくりを学ぶ」

ⅰ　彦根会場
開催日　平成２９年８月２日（水）
会場　彦根市福祉センター　　参加者　２０名

ⅱ　高島会場
開催日　平成２９年８月３日（木）
会場　安曇川公民館ふじのきホール
参加者　４８名

ⅲ　大津会場
開催日　平成２９年１０月１２日（木）　※要確認
会場　明日都浜大津ふれあいプラザ
参加者　２９名

ⅳ　湖南会場
開催日　平成２９年１０月１２日（木）　※要確認
会場　湖南市社会福祉センター
参加者　３３名

ⅴ　スペシャル版
開催日　平成３０年３月１４日
会場　センター
内容　「課題を共有しあえる話し方」～「伝える力」、「巻き込む力」を鍛えよう～
講師　同志社大学　社会学部　准教授　野村裕美
大津市社会福祉協議会　地域福祉課　課長　山口浩次
コーチ　宇治市社会福祉協議会　事務局次長　土田　恭仁子
堺市社会福祉協議会　地域福祉課　主事　山本　香織
大津市社会福祉協議会　地域福祉課　地域支援グループ
リーダー　井ノ口　浩士
大津市社会福祉協議会地域福祉課　地域支援グループ
主事　八田　友矢
滋賀県社会福祉協議会　滋賀の縁創造実践センター　所長　谷口　郁美
滋賀県社会福祉協議会　中央介護・福祉人材センター
副課長　井口　由美子

②市町社会福祉協議会会長会との協働活動・事業の実施

ⅰ　社協会長会研究（市町者社協基盤強化企画会議）の実施
・社協の基盤強化等の研究と中間マネジャー会議の企画・運営を行った。
開催日　平成２９年７月１１日（火）
７月２５日（火）
８月２５日（金）
１０月１６日（金）
１２月２６日（火）
平成３０年１月１８日（木）
内容　社協基盤強化の研究、中間マネジャー会議の企画

ⅱ　社協トップセミナーの開催

＜第１回＞

開催日　平成２９年７月４日（火）

会場　　センター

内容　講演会

テーマ「「地域を耕し、くらしをまもる滋賀の社協ワーカーの機能

～最近の制度動向を踏まえて～」

講師　桃山学院大学　社会学部　教授　松端　克文

参加者数　５５名

＜第２回＞

開催日　平成３０年２月２６日（月）

会場　　センター

内容　　講演会

講演

テーマ「社協の質を向上させる0人事管理とは」

講師　HRM-LINKS　Co.,Ltd. /綱川労務管理センター

人事コンサルタント・社会保険労務士　綱川　晃弘

参加者　　７２名

ⅲ　事務局長研修の開催

＜第１回＞

開催日　平成２９年１１月２１日（火）

会場　栗東芸術文化会館さきら

内容「社協経営の柱となる人事管理について」

参加者　１６名

＜第２回＞（会長・事務局長合同会議）

開催日　平成２９年１２月４日（月）

会場　　豊栄のさと

内容　講演

「社会福祉法改正と社会福祉法人・施設、社協との協働」

講師　社会福祉法人甲南会　常務理事　黒田隆

報告とグループ討議

テーマ「将来を見据えたバランスの良い法人経営」

参加者　３５名、１９社協（事務局除く）

ⅳ　社協会長会事務局書記会議の開催

３回開催した

開催日　平成２９年５月１７日（水）

８月２２日（火）

平成３０年３月２０日（火）

ⅴ　地域福祉担当部・課長会議の開催

開催日　平成２９年９月２０日（水）

会場　センター

内容　「我が事、丸ごと」の地域づくり推進事業について等

参加者　　名

ⅵ　中間マネジャー研修（会議）の開催

２回開催

開催日　１回目　平成２９年１０月２７日（金）

２回目　平成３０年１月２６日（金）
内容　中間マネジャーとしてのマネジメント力強化をめざす
助言者　佛教大学　福祉教育開発センター
講師　金田　喜弘
参加者　延べ５９名
会場　センター他

vii　新任職員研修の開催
開催日　１日目
平成２９年６月２８日（水）
２日目
平成２９年１２月１４日（木）
３日目
平成３０年３月１２日（月）
会場　近江八幡市総合福祉センターひまわり館　等
内容
東近江市社協の現場実践に学ぶ等
参加者
延べ６８名

③ 社協活動の強化をとおした地域福祉の推進

市町社協名	主な内容
大津市	ボランティアセンター運営委員会、災害ボランティアネットワーク連絡会等への参加
彦根市	地域福祉推進委員会等への参画
長浜市	地域福祉活動計画推進委員会・企画会議への参画
近江八幡市	第２次地域福祉活動計画策定委委員会、作業委員会、ボランティアセンター運営委員会への参画
草津市	地域福祉活動推進委員会への参画
守山市	合同専門員会への参画
高島市	つながり応援センターよろず運営委員会、見守りネットワーク推進会議、地域福祉推進委員会、生活支援体制整備協議体会議等への参画
東近江市	ボランティアセンターのあり方検討会への参画
愛荘町	地域福祉推進委員会、ボランティアセンター運営委員会への参画

（２）　企業・団体の社会貢献活動の推進
①淡海フィランソロピーネットとの協働
ⅰ　三役会　２回開催
ⅱ　運営委員会　３回開催
ⅲ　総会の開催
開催日　平成２９年７月１０日（月）
会　場　ライズヴィル都賀山
議　題　平成２９年度事業計画（案）について等

②企業・団体の社会貢献活動セミナーの開催

ⅰ　セミナーの開催

開催日　平成２９年７月１０日（月）

会　場　ライズヴィル都賀山

内　容　基調講演

「淡海の企業市民に期待される実践とは

～ＳＤＧｓの視点と今後の社会の変化を見通して～」

講師　社会福祉法人大阪ボランティア協会

常務理事　早瀬　昇

実践報告

報告者

生活協同組合コープしが　福祉事業部

統括マネージャー　松田　達也

旭化成住工株式会社　ＲＣ管理部

環境安全課　課長　松宮　秀典

オプテックスグループ株式会社

グループ企画部広報課　課長　榎　光夫

参加者　５０名

ⅱ　トップセミナーの開催

開催日　平成３０年３月１日（木）

会　場　琵琶湖ホテル

内　容　「初代伊藤忠兵衛と事業経営」

講師　滋賀大学　特別招聘教授　宇佐美　英機

対談

登壇者　滋賀大学　特別招聘教授　宇佐美　英機

淡海フィランソロピーネット　運営委員長

大道　良夫

進行　鶴渕さやか（びわ湖放送アナウンサー）

参加者　６０名

ⅲ　企業・団体の社会貢献活動に関する情報の発信

・情報誌「そろふぃあ」の発行

経　３　地域福祉を担う人材養成の推進

（１）専門的人材養成の推進

①　社協コミュニティワーク基礎研修

開催日　平成２９年９月８日（金）～９日（土）

会場　白浜荘

内容　コミュニティワークの基礎を学ぶ講義と演習

講師　桃山学院大学　社会学部　教授　松端克文

事例提供　東近江市社会福祉協議会　地域福祉課　主幹　金子泉美

参加者　１５名

②　生活困窮者支援担当者研修

ⅰ　第１回

開催日　平成２９年７月３１日（月）

会場　センター

内容　講義「生活困窮者支援と地域福祉」

講師　同志社大学社会学部　准教授　永田祐
実践報告
高島市健康福祉部社会福祉課　主任　山村栄次郎
高島市社会福祉協議会　つながり応援センターよろず
係長　松本　道也
参加者　４０名

ⅱ　第２回
開催日　平成２９年８月２９日（火）
会場　センター
内容　講義「自立相談支援事業に必要なソーシャルワークの基礎を学ぶ」
講師　同志社大学社会学部　教授　空閑浩人
参加者　２２名

ⅲ　第３回（地域の公益な取組み推進研修会と合同開催）
開催日　平成３０年３月７日（水）
会場　ピアザ淡海
内容　基調講演「生活困窮者自立支援制度がめざす姿をあらためて考える
～支援者に必要な姿勢や実践とは」
講師　認定ＮＰＯ法人抱樸理事長　奥田知志
ディスカッション　「働くこと」の支援を豊かにするために
登壇者　滋賀県社会就労事業振興センター
常務理事兼センター長　城　貴志
社会福祉法人　虹の会
事務局長　川島和久
甲賀市生活支援課　生活支援係
係長　山本明美
コーディネーター
認定ＮＰＯ法人抱樸理事長　奥田知志
参加者　５１名

③ 第３回生活支援コーディネーター養成研修
研修
開催日　９月１５日（金）・１６日（土）
会　場　センター
内　容　講義・演習「生活支援コーディネーターの開発技術」等
（講師）関西学院大学　教授　藤井　博志　等
修了者　７５名（累計２３８名）

④　生活支援コーディネーター学習・情報交換会
（生活支援コーディネーターフォローアップ研修）
＜第１回＞
開催日　平成３０年１月２９日（月）
会場　滋賀県庁
参加者　７９名
内　容　⑴講演「生活支援コーディネーターが大事にすること、動き方」
（講師）全国コミュニティライフサポートセンター
理事長　池田　昌弘
⑵生活支援コーディネーターの実践報告
⑶ 事例報告
出会い食堂♡よっといで～♡　、たすけあい中野　等

＜第２回＞
開催日　平成３０年３月６日（火）
会　場　センター
参加者　４０名
内　容　⑴実践報告
報告者　宮城県美里町社会福祉協議会　地域福祉課　課長　浅野恵美
⑵情報交換

⑤　ボランティアコーディネーターセミナー
＜社会福祉施設向け＞
開催日　平成２９年１１月１７日（金）
会　場　　栗東市総合福祉保健センター
内　容
講義「ボランティア活動の意義とコーディネーションの基本」
実践報告・グループ討議
「社会福祉施設等におけるボランティアコーディネーション」
～想いをつなげるコーディネーションを実践から学ぶ～
（講師）京都光華女子大学　健康科学部医療福祉学科　講師　南多恵子
参加者　３６名

＜社協向け＞
第１回
開催日　平成２９年９月４日（月）
会　場　センター
内　容　講義「この時代に社協ＶＣに求められることは？」等
（講師）京都光華女子大学　健康科学部医療福祉学科　講師　南多恵子
参加者　１７名
第２回
開催日　平成３０年２月２３日（金）
会　場　草津市民交流センター
内　容　事例報告・グループワーク
（講師）京都光華女子大学　健康科学部医療福祉学科　講師　南多恵子
参加者　１７名

経（２）生活支援と介護支援の担い手づくりの推進
①第３回生活支援コーディネーター養成研修ならびに生活支援コーディネーター担当者研修【再掲】
②生活支援コーディネーター学習・情報交換会【再掲】
(生活支援コーディネーターフォローアップ研修)

（３）民生委員児童委員研修の実施
①民生委員児童委員研修
ｉ　民生委員児童委員新任研修
開催日　平成２９年１２月１２日（火）～１２月１４日（木）
会　場　センター
内　容　講演
「“把握し、つなぎ、見守る”を推進しよう！」

演習
「記録の有意義な活用法とは？～『活動記録』書き方のコツ～」
講師　合同会社　泉惠造研修企画工房　代表社員　泉惠造
参加者　１０７９名

ⅱ　中堅民生委員児童委員研修
開催日　　平成２９年７月２１日（金）
会　場　　県立男女共同参画センター
内　容　　講演「相談援助の視点・スタンス・技法
～中堅委員の役割（新任委員への助言等）を踏まえて～」
講師　元　梅花女子大学准教授　植田　寿之
参加者　　１４２名

ⅲ　民生委員・児童委員指導者(会長・副会長)研修
開催日　平成３０年２月２８日（水)、３月９日（金）
会　場　県立男女共同参画センター
内　容　　（両日共通）
講演・演習「定例民協等会議の運営（場づくり）のコツ～対話を通じて「共感」から「共働」へ」
講師　日本ボランティアコーディネーター協会　理事　加留部　貴行　氏
参加者　２月２８日…１９２名
３月９日　…１３２名

ⅳ　主任児童委員研修
開催日　平成３０年１月３０日（火）
平成３０年１月３１日（水）
会　場　県立男女共同参画センター
内　容　（両日共通）
講演・演習「子どもを真ん中にしたまちづくりを考える」
講師　日本福祉大学　社会福祉学部　准教授　野尻　紀恵　氏
参加者　　３０日…１３１名（内、大津市３５名）
３１日…１０７名（内、大津市９名）

ⅴ　民生委員児童委員人権研修
開催日　　平成２９年６月１５日（木）
会　場　　県立長寿社会福祉センター
内　容　　講演「人権問題・部落問題の現状と課題」
講師　滋賀県人権センター　人権啓発担当　河井　一久
講演「社会福祉と人権」
講師　桃山学院大学　副学長　社会学部　教授　　松端　克文
参加者　　２６１名

ⅵ　民生委員児童委員テーマ研修会
開催日　　平成２９年１０月５日（木）
会　場　　センター

内容　　（両日共通）

講演「ひきこもりがちな人と家族の支援について

～甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』の実践から～」

講師　社会福祉法人さわらび福祉会　常務理事　金子　秀明

社会福祉法人さわらび福祉会　主任相談支援員　北出　篤嗣

『奏-かなで-』の利用者

パネルディスカッション

「ひきこもらなくてよい地域社会をどのようにつくっていくのか

～民生委員・児童委員、専門機関、行政、社協、地域の共動～」

パネリスト

湖南市民生委員児童委員協議会　会長　谷口　優

大津市真野北地区民生委員児童委員協議会　会長　津田　洋子

竜王町　健康推進課　精神保健福祉士　栗林　悦子

長浜市社会福祉協議会　地域福祉担当

担当リーダー　山岡　伸次

社会福祉法人虹の会　高島市障がい相談支援センター

コンパス　センター長　山下晏叶子

滋賀県甲賀健康福祉事務所（甲賀保健所）地域保健福祉係

主任保健師　野中　梓

コーディネーター

社会福祉法人さわらび福祉会　常務理事　金子　秀明

参加者　　２６０名

vii　児童委員リーダー研修

開催日　平成２９年８月２２日（火）

会場　　県立長寿社会福祉センター　大教室

内容　　シンポジウム　「児童委員の役割を考える」

～こどもが健やかに育つための地域づくりをめざして～

講師・コーディネーター　佛教大学　福祉教育開発センター

講師　金田　喜弘

登壇者　むさっ子食堂　運営委員長　金澤　満

つどいの広場ぐるり　代表　福永　奈津子

大庭　美香

講演　「子どもが生きる力を守る」

～子どもの貧困と子どもの権利～

講師　NPO法人　こどもの里　理事長　荘保　共子

参加者　２２６名

viii　児童委員研修

開催日　平成２９年１１月１３日（月）

会　場　センター

内　容　講演Ⅰ「ネット社会と子どもたちの実態」

講師　佛教大学　教育学部

京都教育大学大学院　連合教職実践研究所　教授　原　清治

講演Ⅱ「子どもの貧困　現状と課題」
講師　子どもの貧困対策センター　公益財団法人あすのば
代表理事　小河　光治
参加者　２５４　名

（４）社会福祉関係者の実践交流の推進
①第３５回滋賀県社会福祉学会の開催
開催日　２月２２日（木）
会場　　センター
参加者　４１２名
内　容
ⅰ　自由研究発表
発表題数：４７題（口述発表４２題、ポスター発表５題）
ⅱ　全体プログラム
テーマ　「“我が事、丸ごと”を現場から問う！」
社会福祉法人さわらび福祉会　甲賀・湖南ひきこもり支援「奏 - かなで - 」事務局長
山﨑 秀樹
社会福祉法人高島市社会福祉協議会
ふくしのまちづくり推進課生活支援グループ係長　松本 道也
社会福祉法人恩賜財団　済生会滋賀県病院　社会福祉事業課　課長　川添 芽衣子
ＮＰＯ法人甲賀・湖南成年後見センターぱんじー所長　桐高 とよみ
社会福祉法人真盛園　地域交流センター「老いも若きも」コーディネーター
小倉 稀唯子
コーディネーター　同志社大学社会学部　准教授　永田　祐

②研究誌「滋賀社会福祉研究第２０号」の発行
発　　行　平成３０年２月
掲載内容　巻頭言「災害に備える地域福祉～災害関連死０を目指して～」
滋賀県介護福祉士会　田原　育恵
論文１「地域包括ケアシステムにおける在宅支援について
～滋賀県の高次脳機能障害者支援の実際と課題～」
滋賀県高次脳機能障害支援センター　田邉　陽子
論文２「対話から始まる多職種連携―組織開発による地盤作りをもとに―」
同志社大学　野村　裕美
第３５回滋賀県社会福祉学会奨励賞レポート
社会福祉法人恩賜財団済生会　特別養護老人ホーム淡海荘　永原　聡
社会福祉法人青祥会　介護老人保健施設坂田メディケアセンター
長谷川　清
鹿跳倶楽部　岸本　弘己
地域で創る土曜日「夢の学習」推進委員会　摺本　圭治
社会福祉法人野洲慈恵会　悠紀の里居宅介護支援事業所　得原　菊恵

③地域福祉情報連絡会（県人権センター、地域総合センター連協、県、県社協）
＜第１回＞
開催日　平成２９年６月１６日（金）
会　場　川久保地域総合センター
内容　　川久保地域総合センターの概要および取組について等

＜第２回＞
開催日　平成２９年１０月５日（木）
会　場　東近江市福祉センターハートピア
内　容　　東近江社協における生活支援体制整備事業の取り組みについて
＜第３回＞
開催日　平成３０年２月１５日（木）
会　場　滋賀県庁
内　容　　再犯の防止等の推進について等

経 ４　ボランティア活動ならびに生涯福祉学習の推進

（１）「縁・支え合いの県民運動」の推進

①「福祉ボランティア体験プログラム」の検討

＜プロジェクト会議の実施＞

◆第４回プロジェクト会議
日時：平成29年6月13日（火）10:00～12:00
場所：龍谷大学　瀬田キャンパス２号館１１１教室（大津市瀬田大江町横谷1番5）
内容：ボランティア体験情報の発行に向けて
参加者：１９名

◆第５回プロジェクト会議
日時：平成29年9月25日（月）　11:00～13:00
場所：県立長寿社会福祉センター　第３・４研修室（草津市笠山七丁目8-138）
内容：ボランティア体験情報誌の活用について
参加者：１５名

プロジェクト会議構成メンバー：市町社協、レイカディアえにしの会、社会福祉施設、子育てサークル、大学ボランティアセンター等
（指導者）京都光華女子大学 健康科学部　医療福祉学科　講師　南　多恵子

＜平成２９年度「縁・支え合いの県民運動」福祉ボランティア体験情報誌の発行＞
部数：８，０００部
配布先：各市町社会福祉協議会、図書館、公民館、企業、各種団体等

②「えにしの日」（３月１１日）、「えにし週間」に実施する訓練や活動への地域住民へのボランティア活動促進

	団体名	実施事業
1	（社福）グロー　老人ホームながはま	福祉避難所運営マニュアル検証訓練
2	滋賀県肢体障害者の会「みずのわ」	災害支援の実態調査に向けた学習会
3	（特活）鍼灸地域支援ネット	視覚障害者等支援者（鍼灸師・マッサージ師）の災害対応の学習会
4	滋賀県自閉症協会	発達障害児者の災害支援をテーマとした学習会
5	（社福）滋賀県視覚障害者福祉協会	視覚障害者の避難訓練
6	（社福）幸寿会 特別養護老人ホームカーサ月の輪	災害時対応シュミレーション訓練
7	（社福）栗東市社会福祉協議会	災害支援をテーマとした学習会
8	新旭子ども食堂	非常食体験
9	（社福）甲賀市社会福祉協議会	避難体験シュミレーション
10	（社福）石光山会　新石山寺保育園	メールによる安否確認訓練
11	（社福）虹の会	避難所運営ゲーム・避難所体験

12	（社福）せんだん二葉会せんだん保育園	避難訓練
13	（特活）子育ち・子育てサポート きらきらクラブ	避難訓練
14	（社福）甲賀市社会福祉協議会	福祉避難所をテーマとした学習会 福祉避難所運営マニュアル検証
15	（社福）彦根市社会福祉協議会	災害支援をテーマとした学習会
16	（公社）滋賀県手をつなぐ育成会	知的障害児者の災害支援を考える学習会
17	（社福）栗東市社会福祉協議会 ゆうあい子どもカレー★食堂	災害支援をテーマとした学習会
18	（社福）真盛園　おいわか子ども食堂	非常食体験・防災グッズづくり
19	滋賀県立むれやま荘	当事者の消防訓練（避難訓練、通報訓練、消火訓練）
20	東近江市立さくらんぼ幼児園	避難訓練（火災想定）

③「縁・支え合いの県民運動」福祉のボランティア体験の推進

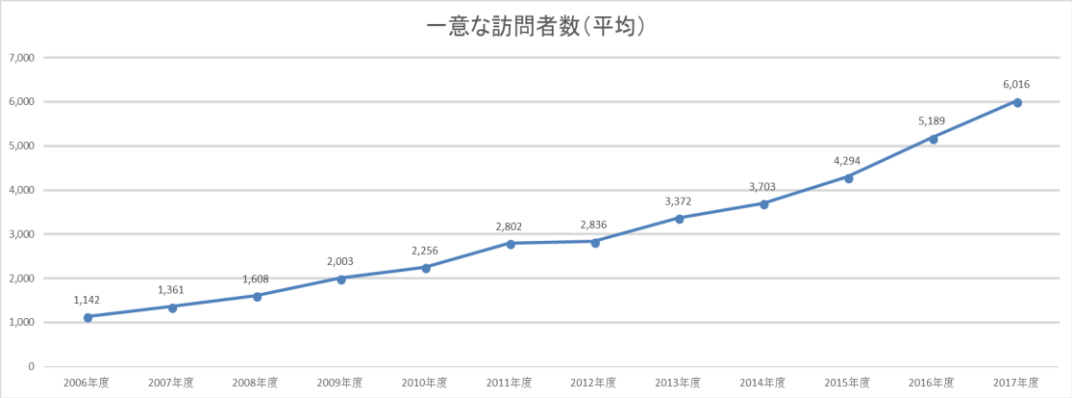
- 県ボランティアセンター・ボランティア体験事業　3,000人
- 遊べる・学べる淡海子ども食堂ボランティア　1,800人
- フリースペースのボランティア　150人
- ハローわくわく仕事体験のセミナーや受け入れへの協力者　285人
- レイカディアえにしの会　100人
- レイカディア大学サポート隊　200人
- レイカディア大学ボランティアの日　800人
- 災害ボランティア　300人
- 「えにしの日」への参加　H28：12団体700人 ＋ H29：20団体1,200

合計：8,535人

④しがボランティアネットの運営

・年間アクセス数：154,465（一意な訪問者数：72,190）

・メールマガジン登録者数：429件



⑤ふれあい基金による助成事業の実施

ⅰ　寄付の受入

１７件　　1,473,905円

ⅱ　助成事業の実施

・市町ボランティアセンター機能強化助成事業

助 成 先：　市町社協（草津市・甲賀市・日野町）

助成総額：　576,000　円

・ボランティアグループ助成事業

助　　成：　３１グループ

助成総額：　2,552,964　円

ⅲ　審査会

平成２９年６月２７日（火）９：３０～１１：３０

⑥滋賀県善意銀行の運営（寄付・預託の受け入れと配分事業、助成事業の実施）

ⅰ　寄付、預託の受け入れ

・車いす　３４台（19台、5台、10台）

・TKクッション　５個

・照明器具　１７灯

ⅱ　助成事業の実施

対象事業名	助成金額	助成先
民生委員制度創設１００周年記念 滋賀県民生委員児童委員大会	200,000 円	滋賀県民生委員児童委員協議会連合会
民生委員制度創設１００周年記念事業 メッセージ集の発行	100,000 円	滋賀県民生委員児童委員協議会連合会
平成２９年度　近畿ブロック家族の集い	100,000 円	特定非営利活動法人 滋賀県精神障害者家族会連合会
平成２９年度 近畿老人福祉施設協議会施設長研修会	100,000 円	滋賀県老人福祉施設協議会
合計	500,000円	

経 （２）市町社協と共同で進める福祉学習への取組

①えにしの日・えにし週間（再掲）

②福祉学習資機材の貸し出し

貸出資機材	貸出件数	貸出数
ビデオ・ＤＶＤ	14	32
点字版	7	261
車椅子	33	292
アイマスク	5	116
白　杖	1	9
その他（ＨＵＧ等）	3	4

（３）教員免許取得者のための介護等体験事業の実施

小学校および中学校の教諭の普通免許状を取得する者を対象に、福祉施設等　における介護等体験（５日間）の連絡調整業務を行った。また、この業務を通じて、大学、短大等ならびに学生に対してボランティア活動に関する意識の向上を図った。

a. 体験者数　　９７１名(年間)

b. 受入施設数　１８３施設(年間)

c. 教育職員免許取得者介護等体験事業実施一覧（施設種別）

施設種別	受入施設数	体験者数
生活保護施設	2	4
老人福祉施設	114	734
児童福祉施設	8	16
老人保健施設	12	35
障害福祉施設	47	182
計	183	971

５　災害ボランティアセンターの運営と事業推進

（１）常設型災害ボランティアセンターの運営

①啓発、情報提供活動

ホームページ・Facebookにおいて、災害ボランティア活動に関する情報等を県民、関係者に発信した。

また、九州北部豪雨災害等全国各地の被災地災害ボランティアセンターの情報を随時発信した。

②県災害ボランティアセンター運営協議会の開催

災害時における連携体制や役割分担等運営について協議するため、運営協議会を１回、担当者会議を４回開催した。

＜開催日＞

平成２９年６月３０日(金)(合同開催)、８月１０日(木)、１０月２５日(水)、平成３０年３月１５日（木）

（２）災害ボランティアセンター機動運営訓練

①県災害ボランティアセンター

開催日　平成２９年９月１０日（日）

会場　　県危機管理センター

参加者　３６名

②現地災害ボランティアセンター

開催日　平成２９年８月２７日（日）

会場　　守山市物部小学校および物部幼稚園

（３）災害ボランティアセンター中核運営支援者研修会ならびに連絡会の実施

登録者３名を現地災害ボランティアセンター運営訓練に参加し、中核運営支援者業務を訓練した。

（４）市町災害ボランティアセンターの基盤強化

市町における災害ボランティアセンター活動支援体制（災害ボランティア活動連絡会等）の整備、立ち上げの支援を進めた。(大津市、近江八幡市、草津市等)

（５）除雪ボランティア広域調整事業の実施

２６年度に創設した除雪ボランティアの広域調整事業について、ボランティア登録を一層進めるとともに、登録者に豪雪地域との交流を促し、コーディネーターの情報交換等により重層的な除雪支援の体制づくり支援をすすめた。

除雪ボランティアの募集・登録

個人：５４名（昨年度末＋９名）

団体：５団体（昨年度末と同数）

登録者の豪雪地域との交流の機会の提供

〇９月４日（月）～７日（木）

長浜ワークキャンプ（１名参加）

〇２月９日（金）～１２日（月・祝）

長浜ワークキャンプ（５名参加）

〇その他研修等参加呼びかけ

市町社協ボランティアコーディネーターとの情報共有・交換

〇市町社会福祉協議会ボランティアコーディネーター連絡会議

・日時

平成３０年２月２３日（金）

・参加人数

１７名

・内容

県内の積雪と除雪活動の状況について

（６）近畿ブロック「災害支援研修」ならびに「事務局長研修」の開催

①災害支援研修

開催日

平成２９年１１月２７日（月）・２８日（火）

会　場

県危機管理センター等

参加者

５１名

内　容

講義・演習「平常時の社協活動やネットワークを災害時にどう活かすのか！？」

（講師等）

コミュニティエンパワメント・オフィスFEELDo　代表　桒原英文

特定非営利活動法人み・らいず　常務理事　若松周平

全国社会福祉協議会　常務理事　渋谷篤男

竹田市社会福祉協議会　地域福祉課　課長　水野　匡也

近畿ブロック府県・指定都市社協研究企画メンバー

②事務局長研修

開催日

平成２９年１１月２７日（月）

会場

ピアザ淡海

参加者

５８名

内容
講義・ディスカッション「社協の総合力を活かす」～社協の取り巻く法令・施策と災害支援の変遷を踏まえて～　等
（講師等）
コミュニティエンパワメント・オフィスFEELDo　代表　栗原英文
全国社会福祉協議会　常務理事　渋谷篤男

６　災害時要配慮者支援の取組み推進

（１）「えにしの日」「えにし週間」における避難訓練等実施の推進（再掲）

（２）滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議の運営

＜第１回＞
開催日
平成２９年７月１４日（金）
会　場
県危機管理センター
参加者
７６名
内　容
「えにしの日・えにし週間における避難訓練・福祉避難所運営訓練等の取り組み報告について」　等
（講師等）
コミュニティエンパワメント・オフィスFEELDo　代表　栗原英文
特定非営利活動法人しが盲ろう者友の会　事務局　野中美智子
社会福祉法人グロー　老人ホームながはま　副所長　舞鶴正吉
彦根市社会福祉協議会　地域福祉課長　森恵生

＜第２回＞
開催日
平成３０年１月２２日（月）
会　場
コラボ滋賀２１
参加者
８５名
内　容　グループワーク「どのような訓練や学習会ができるか」
（講師等）
コミュニティエンパワメント・オフィスFEELDo　代表　栗原英文

（３）災害時福祉的支援検討会の実施（県と共同）

①検討会
＜第２回（29 年度第１回＞
開催日
平成３０年３月２２日（木）
会場
県危機管理センター
内容
２９年度ワーキングの報告等

②ワーキング

３回のワーキングにおいて、「避難所チェックリスト」作成と福祉的支援を検討を進め、要配慮者当事者団体ヒアリングを実施した。

③災害時要配慮者避難支援研修の開催

開催日

平成３０年１月２２日（月）

会場

コラボ滋賀２１

参加者

１００名

内容

講義「改正個人情報保護法と災害～被災者の権利や利益を守るために」

（講師）

弁護士法人芦屋西宮法律事務所

代表弁護士　津久井進

７　権利擁護の理解を進めるための広報・啓発や学習の場づくり

（１）　権利擁護理解を進めるための学習の場づくり、啓発活動

① 権利擁護フォーラム

開催日　平成３０年３月２０日（火）

場　所　センター

参加者　８１名

内　容

・子どもを取り巻く本県の現状について

滋賀県健康医療福祉部　子ども・青少年局

・少年鑑別所の機能と地域における役割について

〈講　師〉　法務少年支援センターおうみ　～こころの相談室おうみ～

大津少年鑑別所　主席専門官　　村上　芳巳

８　権利擁護に関するネットワークづくりや専門職の資質向上の促進

⑴ 各圏域成年後見サポート・権利擁護支援センターを中心とした「権利擁護支援のしくみ」の構築推進

① 各圏域成年後見サポート・権利擁護支援センターへの協力

・長浜市成年後見・権利擁護センター(社協)運営委員会

・高島市成年後見サポートセンター(社協)運営委員会

・米原市権利擁護センター(社協)運営委員会

・成年後見センターもだま運営適正化委員会

なんでも相談会への協力

県内７圏域で実施され、職員の派遣を行った。

大津市（１回）、湖南（１回）、甲賀・湖南（２回）、東近江（１回）、湖東（１回）、米原市（１回）、長浜市（１回）、高島市（１回）

② 圏域成年後見サポート・権利擁護センター連絡会の開催

第１回

開催日　平成２９年７月２４日（月）

場　所　センター

内　容　・各センターの情報交換

・各センターの「なんでも相談会」について

・成年後見利用促進基本計画に関して　等

第２回

開催日　平成３０年３月１４日（水）

場　所　センター

内　容　・各センターの情報交換

・成年後見利用促進法に関して　等

(2) 成年後見制度利用支援の推進および体制整備

① 成年後見申し立て事務に関する研修会の開催

開催日　平成２９年９月１２日（火）

場　所　センター

参加者　６７名

内　容　講義「成年後見制度による支援の意義と効果」

司法書士・社会福祉士　　小川　学

講義と演習「成年後見制度の申立て書の作成の実際 ～市町長申立てを中心に～」

〈講　師〉 大津市権利擁護サポートセンター　　楠本　幸

ＮＰＯ法人 甲賀・湖南成年後見センターぱんじー

大久保 孝仁

講義「成年後見制度申し立ての際の留意点について」

〈講　師〉 大津家庭裁判所　裁判所書記官　　吉田　修明

(3) 県および専門職（団体）等との協働による、各市町権利擁護支援体制整備の促進

① 滋賀ネット懇談会への参加

滋賀の権利擁護に関わる者が集まり、権利擁護に関わる課題について情報交流、取組みを進める場、関係者のネットワーク構築の場である滋賀ネット懇談会に参加した。

９　障害者の権利擁護や虐待防止のための相談支援の推進、専門職の資質向上の促進

(1) 権利擁護相談、障害者１１０番事業の運営

	相談受付件数	相談者			相談方法				
		本人	家族・親族・知人	関係機関　他	電話	来所	訪問	メール	その他
４月	１１	５	３	３	８	３	０	０	０
５月	１６	５	３	８	１４	２	０	０	０
６月	１５	３	４	８	１２	２	０	０	１
７月	１５	５	５	５	１３	２	０	０	０
８月	１７	９	０	８	１７	０	０	０	０

9月	**２５**	１７	1	7	２０	5	0	0	0
１０月	**２５**	１５	2	8	２３	1	0	0	1
１１月	**１３**	8	2	3	１２	1	0	0	0
１２月	**9**	2	2	5	9	0	0	0	0
1月	**１５**	8	2	5	１５	0	0	0	0
2月	**１６**	１０	4	2	１４	1	0	0	1
3月	**１１**	5	0	6	１０	1	0	0	0
合　計	**１８８**	９２	２８	６８	１６７	１８	0	0	3

⑵ 専門相談（弁護士相談）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度合　計
専門相談	2	0	2	2	0	3	2	0	0	0	2	1	１４

⑶ 障害者虐待防止に関わる人材育成、体制整備の推進

① 虐待防止センター職員・行政職員向け

市町虐待防止センター担当者および市町行政担当者に対し、通報受理から虐待への対応について理解を深めるため、事例演習・帳票作成を含めた研修を行った。

≪1日目≫

開催日　平成２９年８月３日（木）

場　所　南部合同庁舎別館　草津保健所

参加者　２５人

内　容

講義「障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律について」

〈講　師〉　しろまち法律事務所　弁護士　　田嶋　明日香

講義「障害者虐待防止対応における市町村の権限と役割」

〈講　師〉　大津市権利擁護サポートセンター　　中原　一隆

講義と演習「虐待対応の流れと虐待対応帳票類の活用について」

〈講　師〉　しろまち法律事務所　弁護士　　田嶋　明日香

大津市権利擁護サポートセンター　　中原　一隆

大津市障害者虐待防止センター　　管　　浩一

≪２日目≫

開催日　平成２８年８月１０日(木)

場　所　県立長寿社会福祉センター

参加者　１６人

講義と演習「虐待対応の流れの実際について」

〈講　師〉　しろまち法律事務所　弁護士　　田嶋　明日香

大津市権利擁護サポートセンター　　中原　一隆

大津市障害者虐待防止センター　　管　　浩一

② 施設長・管理者向け

施設・事業所の管理者を対象に、管理的立場にある者として職場や組織全体で、施設従事者による障害者虐待の防止のための取り組みについて研修を行った。

≪北部会場≫

開催日　平成３０年1月１７日（水）

場　所　県立文化産業交流会館

参加者　５７名

内　容　講義　「障害者虐待の動向とその防止について」

滋賀県健康医療福祉部　障害福祉課　茂森　直紀

講義　「施設職員の感情コントロール」

ケア・オブ・クローバー株式会社　代表取締役　中村　真理

講義と演習「虐待防止のためにどのように取り組むか」

〈講師指導者等〉

湖北会　ふくらの森　大岡　賢至

とよさと　ステップあップ２１　石澤　英明

とよさと　ステップあップ２１　吉川　知則

ひかり福祉会　橋本　昌則

蒲生野会　東近江地域障害者生活支援センター　れいんぼう　藤宮　祐憲

青い鳥会　彦根学園　廣田　佑一郎

かすみ会　かいぜ寮　柚木　將敬

≪南部会場≫

開催日　平成３０年1月３１日（水）

場　所　県立長寿社会福祉センター

参加者　７９名

内　容　講義　「障害者虐待の動向とその防止について」

滋賀県健康医療福祉部　障害福祉課　茂森　直紀

講義　「施設職員の感情コントロール」

ケア・オブ・クローバー株式会社　代表取締役　中村　真理

講義と演習「虐待防止のためにどのように取り組むか」

〈講師指導者等〉

椎の木会　落穂寮　太田　正則

しが夢翔会　大津市発達障害者支援センターかほん　小﨑　大陽

大津市障害者虐待防止センター　管　浩一

大津市やまびこ総合支援センター　藤井　洋平

倉場　眞弓

さわらび福祉会　ワークステーション虹　山﨑　秀樹

湖北会　ふくらの森　大岡　賢至

ひかり福祉会　橋本　昌則

蒲生野会　東近江地域障害者生活支援センター　れいんぼう　藤宮　祐憲

とよさと　ステップあップ２１　吉川　知則

(4) 権利擁護に関する普及啓発活動

①障害者虐待防止啓発リーフレットの作成・配布　５，０００部

②権利擁護センターパンフレットの作成・配布　　３，０００部

１０　地域福祉権利擁護事業の推進および支援

市町社協が実施する地域福祉権利擁護事業が、権利擁護を担うサービス等の一つとして、適正かつ効果的に実施できるよう情報交流・研修を行い、権利擁護支援を進める専門的人材の育成を図った。

(1) 地域福祉権利擁護事業の適正かつ効果的実践推進

① 市町社協への個別支援（個別ケース、運営・体制整備等への支援）

各市町社協からの電話等による個別ケースへの助言を行った。

＜平成２９年度の利用契約件数＞

認知症高齢者	４３３件
知的障害者	５８０件
精神障害者	３７０件
その他	６０件
合計	１，４４３件

② 地域福祉権利擁護事業の適正実施のための行動指針の作成

地域福祉権利擁護事業を安心して利用いただけるように、滋賀県市町社会福祉協議会と共同で行動指針を作成した。

③ 地域福祉権利擁護事業担当者会議の開催

開催日　平成２９年１０月１１日（水）

場　所　センター

内　容　・研修「地域福祉権利擁護事業のより良い運営のために」

～現地調査から見えたこと～

運営監視合議体副合議体長　中原　一隆

・事例検討および情報交換

・報告事項

地域福祉権利擁護事業に係る滋賀銀行の事務手続きの変更について

参加者　３１名

(2) 権利擁護支援をすすめる専門的人材の育成

① 新任職員・生活支援員研修会の開催

【１日目】

開催日　平成２９年６月１５日（木）

場　所　センター

参加者　２２名

内　容　講義１「権利擁護とは」

〈講　師〉 成年後見センターぱんじー　所長　　桐髙　とよみ

講義２「地域福祉権利擁護事業について」

〈講　師〉 県社協職員

【２日目】

開催日　平成２９年６月２２日（木）

場　所　センター

参加者　３１名
内　容　講義１「精神障害者の理解と支援について」
〈講　師〉　地域生活支援センター風　相談員　　松田　さとみ
講義２「認知症の人の理解と支援について」
〈講　師〉　グループホーム大宝の郷　管理者　　永島　政勝

【３日目】
開催日　平成２９年６月２９日（木）
場　所　センター
参加者　３１名
内　容　講義１「知的障害者の理解と支援について」
〈講　師〉　おおつ働き・暮らし応援センター　　西川　健一
講義２「成年後見制度について」
〈講　師〉　成年後見センターぱーとなー滋賀　社会福祉士　村田　才司

【滋賀の縁創造実践センター】

縁センターがめざすもの

①トータルサポートの福祉システム化
②制度の充実と制度外サービスへの取り組み推進
③縁・支えあいの県民運動

５年間の目標

①縁・共生の場づくり（３００か所）
②課題解決のためのネットワークづくり（１５か所）
③制度のはざまとなっている課題へのモデル事業（１５事業）
④国や県、市町への施策提案（２０の提案）
⑤新たに福祉のボランティア体験をする人（１万人）

１　縁・共生の場づくり

縁・共生の場づくり 300か所（概ね小学校区に一つ） 284/300

①縁認証　18→22 団体
②縁奨励　6→15 団体
③淡海子ども食堂　62→95 か所
④フリースペース（しんどさ抱える子どもの夜の居場所）7→10 施設
⑤中高年障害者の休日の居場所　1 か所
⑥ひきこもりの人と家族の居場所　1 か所
⑦傍楽体験の場　3→5 か所
⑧施設退所後の若者のための居場所「ほっとスポット」 0→2 か所
⑨ハローわくわく仕事体験の場　96→133 社

【リーディングプロジェクト】

（1）「遊べる学べる淡海子ども食堂」推進事業

〇モデル事業の募集と立上げ・運営支援　95 か所（新規 33）
〇淡海子ども食堂開設準備講座　7 回、延べ 336 名参加
　→子ども食堂の開設につながった人　20 食堂 48 名
〇「子ども食堂はじめてみよう！」の作成配布　2000 部
〇実践者研修会　4 回、延べ 54 食堂、155 名参加
　・運営の継続・応援団づくり
　・子どもとの関わり方
　・子ども食堂で役立つレシピ、調理実習を学ぼう！（大阪ガス協力）
　・子どもと食物アレルギー（子ども食堂スマイルシード協力）
〇交流会　2 回、延べ 21 食堂、60 名参加
〇社協職員向け研修会　1 回、15 名参加

（県社協事業）

〇子どもを真ん中においた地域づくり・子どもの笑顔はぐくみプロジェクト
　平成 29 年 8 月 20 日開始

〈県社協・縁センターと県の三者による公私協働事業〉

（２）「滋賀の縁」認証事業

29 年度に認証を受けた活動　（4 団体）

認証第 14 号★認定特定非営利活動法人あさがお

～サービスを利用する権利、権利侵害から本人を護る権利擁護支援のしくみの構築～

認証第 15 号★認定 NPO 法人四つ葉のクローバー

～社会的養護の必要な若者の支援モデル～

認証第 16 号★特定非営利活動法人 CASN

～悩みを抱えた子どもたちに寄り添い、生きる力を育む活動～

認証第 17 号★社会福祉法人あすなろ福祉会

～あったかほーむを拠点とした多世代の居場所づくり～

29 年度に奨励を受けた活動　（9 団体）

★特定非営利活動法人ふれあいセンター「そよ風」

～あったかほーむを拠点とした多世代の居場所づくり～

★特定非営利活動法人どろんこ

～あったかほーむを拠点とした高齢者の健康づくりと子どもの体験交流の“場”づくり～

★特定非営利活動法人あめんど

～子ども・若者の成長をとことん見守り、分野・制度により途切れることのない支援活動～

★認定特定非営利活動法人大津夜まわりの会

～ホームレス状態や住居に困っている人を「断らない」「見捨てない」支援～

★NPO 法人Ｌｉｎｋｓ

～子ども・若者の実情に応じた多様な居場所づくり～

★特定非営利活動法人元気な仲間

～地域助け合い支援センターたすけあい高島～

★特定非営利活動法人つどい

～耕作放棄地を活用し地域に役割を生み出す共生社会づくりの取組み～

★近江八幡「おやじ連」

～退職後男性グループをネットワーク化～

★たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」

～災害時に困難を抱える人の視点に立った、共に生き抜くための減災プログラムの開発と実践～

２　課題解決のためのネットワークづくり

課題解決のためのネットワークづくり　15か所（概ね福祉事務所単位）15/15

全圏域でネットワークづくりの取組み実施中

（１）滋賀の縁塾の開催　（多職種連携のためのチームづくりを学ぶ場）

〇縁塾（4 回開催、計 130 名参加）

彦根会場　20 名

高島会場　48 名
湖南会場　33 名
大津会場　29 名
〇縁塾スペシャル版（1 回、40 名参加）
課題を共有しあう話し方を学ぶ

（2）“事例検討”多職種サロンの開催〈県社会福祉士会との協働〉
〇多職種サロン（9 回開催、延べ 101 名参加）

3　制度だけで対応できない生活課題の解決のためのモデル事業の企画と実施

15事業の実施　29/15
①フリースペース（10）
・特養型 8 か所（カーサ、アイリス、せせらぎ、なごみの家、さわのそよ風、さざなみ、ゆったり、にじ）
・小規模多機能型 1 か所（かなで）
・障害者施設型 1 か所（ひこねふるさと）
②高齢者施設を活用した中高年障害者の休日の居場所（1）
③児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり（6）
・ハローわくわく仕事体験
・キャリアアップセミナー　　・プロフェッショナルセミナー
・企業と施設の懇談会
・子どもたちの自立支援応援者のためのハンドブック
・退所後の居場所ほっとスポット
④ひきこもりの人と家族の支援（2）
・甲賀・湖南ひきこもり支援「奏（かなで）」
・圏域を越えた家族と支援者交流学習会
⑤生きづらさを抱える人の働く場づくり「傍楽体験」（5）
・県社協、社会福祉士会、介護福祉士会、ケアマネ協議会
…若者サポステとの協働
・虹の会…市内相談支援機関との協働
⑥医療的ケアを要する重度障害者の入浴支援事業（5）
・通所施設で訪問入浴モデル（草津市）
・高齢者施設開放モデル（大津市、東近江市、日野町、湖南市）

（1）居場所づくり小委員会モデル事業
〇社会福祉施設を活用したしんどさを抱える子どもの夜の居場所「フリースペース」
・実施数　5 市（大津市、彦根市、甲賀市、高島市、栗東市）　10 施設
①フリースペースカーサ（H27.3～）　木曜日・・・カーサ月の輪
②フリースペースかなで（H27.7～）　金曜日・・・時間の奏
③フリースペースせせらぎ（H27.9～）　火曜日・・・せせらぎ苑
④フリースペースひこねふるさと（H28.2～）　水曜日・・・ふるさと

⑤フリースペースアイリス（H28.2～）　木曜日・・・近江舞子しょうぶ苑
⑥フリースペースふじの里なごみの家（H28.4～）水曜日・・・ふじの里
⑦フリースペースさわのそよ風（H29.1～）　金曜日・・・さわの風
⑧フリースペースさざなみ（H29．5～）　火曜日・・・さざなみ苑
⑨フリースペースにじ　（H29．7～）　水曜日・・・栗東すみれ苑
⑩フリースペースゆったり　（H29．8～）　水曜日・・・清風荘
・フリースペース交流会　11 月 6 日（月）　29 名が参加（9 施設、4 社協）

○手をつなぐ育成会との協働による、高齢者施設を活用した中高年障害者の休日の居場所づくり
・カーサ月の輪で実施（草津市手をつなぐ育成会との協働）

（２）要養護児童の自立支援小委員会モデル事業
（県社協との協働事業）
児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり事業
※28 年度から、縁センターの施策提案が県の事業として予算化。
県社協が受託 4,500 千円

○ハローわくわく仕事体験事業
・協力事業所の開拓　　133 社
・協力事業所での就労体験　中高生　延べ 120 名
・協力事業所での見学　小学生　延べ 59 名
○キャリアアップセミナー　2 回　児童 64 名、職員 37 名参加
○プロフェッショナルセミナー　3 回、29 社、児童 93 名、職員 63 名参加
○退所後の居場所「ほっとスポット」開設、啓発グッズの作成
・四つ葉カフェ（四つ葉のクローバー）
・こばと（小鳩会）

（３）ひきこもり等の支援小委員会モデル事業
（県社協との協働事業）
ひきこもり者と家族に学ぶ地域づくり事業
※29 年度から、縁センターの施策提案が県の事業として予算化。
県社協が受託 6,206 千円

○甲賀・湖南ひきこもり支援『奏ーかなでー』
ひきこもりの人と家族に学ぶ地域づくりを目標に、さわらび福祉会が中核となり、民生委員児童委員協議会、市役所、市社協、保健所とさわらび福祉会（事務局）による「奏」運営会議で方向性を共有しながら以下の活動を継続的に実施。
①訪問支援（アウトリーチ）の実践
②本人・家族の居場所（縁サロン）づくり
③家族交流・学習会の開催
・甲賀保健所、家族の会「きらら」と東近江保健所、家族の会「山ぶどうの会」の交流学習会　平成 30 年 2 月 23 日（木）

④地域への啓発活動

・市民向け小冊子の作成と研修会等での配布

・“ひきこもり”を考える公開講座

平成 29 年 12 月 6 日、甲西文化ホールにて開催。約 200 名の参加

⑤県域の交流活動

・高島市つながり応援センターよろず「つながり応援支援者ネットワーク会議」との交流

○高島市におけるひきこもり支援のしくみづくり（県委託事業を活用して推進）

高島市社協が中核となり、つながり応援センターよろず「つながり応援支援者ネットワーク会議」を運営。訪問型相談活動も実施

（4）生きづらさを抱える人の働く場づくり小委員会モデル事業

○仕事の切り出しや、地域からの受注による小さな働く場「傍楽体験」

①虹の会（H28.6 月～）　週 1 回、延べ 103 名参加

宿泊施設のシーツやタオル等のリネン類をたたむ作業、施設内の草刈りで職員が行っていた業務、DM発送作業等

参加者は、高島市障がい者相談支援センターコンパス、就労準備支援事業ホップ、あすくる高島の登録者

②滋賀県社協（H27.11～）　15 回、延べ 77 名参加

発送作業、車いす等のメンテナンス等

参加者は、地域若者サポートステーション、大津市社協、リライフの登録者

③滋賀県介護福祉士会　2 か月に 1 回、延べ 24 名参加

④滋賀県社会福祉士会　月 1 回、延べ 57 名参加

⑤滋賀県介護支援専門員連絡協議会　3 か月に 1 回、延べ 11 名参加

上記はいずれも会員あての定期発送作業

参加者は、地域若者サポートステーションの登録者

（5）制度の横だし・運用改善小委員会モデル事業

○医療的ケアを要する重度障害児者の入浴支援事業

【利用している通所事業所で訪問入浴】…4 名（サービス提供は週 1 回）

①草津市　20 歳男性、30 歳女性

②湖南市　20 歳男性、24 歳男性

※訪問入浴方式でスタートしたが、現在は隣接施設の浴室開放で入浴

【自宅近隣の高齢者施設で入浴】…5 名（サービス提供は週 1 回）

①大津市　25 歳男性（特別養護老人ホーム　カーサ月の輪）

②東近江市　12 歳女児（県看護協会在宅ケアセンターみのり）

③東近江市　9 歳女児（同上）

④日野町　11 歳女児（特別養護老人ホーム　誉の松）

⑤日野町　9 歳男児（特別養護老人ホーム　白寿荘）

○地域共生型入浴サービスづくり研修会　9 月 27 日開催、30 名参加

（高齢者施設で重度障害児・者がゆったり入浴）

4　国、県、市町への施策提案

20の提案　20/20

27 年度の提案等

- 制度のはざまへの公私協働の実践
  ①滋賀県人口ビジョン・総合戦略において、子どもの貧困対策にかかる施策の確実な位置づけを提案
  ②遊べる学べる淡海子ども食堂推進事業について、政府が平成 28 年度に創設する地方創生の新型交付金を活用した事業展開を提案
- 全員参加公私協働ですすめる「遊べる学べる淡海子ども食堂」推進事業
  ①子どもの笑顔を育む縁ネットの設立
  ②官民協働による子ども食堂の運営支援
  ③フードバンクの実施
  ④持続的な運営・コミュニティサービス運営の人材育成
  ⑤スクールソーシャルワーカー活用事業の拡充
  ⑥子ども食堂事業コーディネーターの配置
- 施設や里親のもとで育つ子どもたちの自立支援事業
- ひきこもりの人と家族支援センターの開設

28 年度の提案等

- あたたかいまなざしと一人ひとりの可能性を育む支援
  ①子どもの笑顔を育む縁ネットの設立
  ②基幹型ひきこもりの人と家族支援センターの創設
  ③高齢者施設を活用した中高年障害者の地域の居場所づくり
  ④医療的ケアの必要な重度障害児者の入浴サービスの充実・強化
  ⑤えにしの日・えにし週間の制定と協働
- ひとり親家庭の子育て実態調査の実施（県民児協との協働）
- 縁県民運動推進協議会の設置
- 津久井やまゆり園での殺傷事件を受けての緊急アンケート調査の実施

29 年度の提案等

- 子ども食堂を下支えする応援団としてのフードバンク的仕組みづくりの検討　→「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の創設（8 月）
- 「生きづらさを抱える人」が差別や偏見を感じた事例に関する調査
  ①認知症の人とその家族
  ②精神障害者やひきこもりがちな人とその家族
  ③社会的養護が必要な子どもとその支援者
- 要養護児童の退所後支援の強化～枠にとらわれないサポート活動「ほっとスポット」を活用したトータルな退所後支援の推進

5　縁・支え合いの県民運動

福祉のボランティア体験をする人10, 000人　8, 535/10, 000

- 県ボランティアセンター・ボランティア体験事業　3000 人
- 遊べる・学べる淡海子ども食堂ボランティア　1800 人
- フリースペースのボランティア　150 人
- ハローわくわく仕事体験のセミナーや受入れへの協力者　285 人
- レイカディアえにしの会　100 人
- レイカディア大学サポート隊　200 人
- レイカディア大学ボランティアの日　800 人
- 災害ボランティア　300 人
- 「えにしの日」への参加　H28；12 団体 700 人＋H29；20 団体 1200 人

（1）　「えにしの日」　（3月１１日)、「えにし週間」　の活動推進

滋賀の縁創造実践センター、滋賀県災害時要配慮者支援ネットワークおよび県社会福祉協議会は、今年度も、「えにしの日」「えにし週間」に、共生社会をつくっていくという視点で、災害時に支援を必要とする人の側にたった訓練や研修を行い、行政の防災計画や避難所運営マニュアルなどを検証する取組みの実施を呼びかけた。

〇趣旨に賛同する団体が、ユーザー（災害時に困難を抱える人）側の視点で行政の防災計画等を再確認、検証する訓練や研修を実施　→20 団体が実施

・昨年にくらべ、当事者団体や子ども食堂等、実施主体が広がった。

（2）“縁”県民運動推進協議会

多様な価値観を認め合う福祉文化づくりを推進する県条例の制定に向け、当事者団体や支援関係者と協働して生きづらさを抱える人が感じる社会的排除や差別、偏見に関する調査を実施し、県社会福祉審議会にその結果まとめを提出した。

・認知症の人と家族の会滋賀県支部

・甲賀・湖南ひきこもり支援「奏」、さわらび福祉会

・滋賀県児童福祉施設協議会

（3）つながり・ひろげる縁フォーラムの開催

〇縁フォーラム　4 月 25 日開催　約 200 名の参加

上野谷副代表理事のコーディネートにより、辻哲夫氏、湯浅誠氏と、縁の実践者による対話があり、縁センターの今後について、ゲストからの示唆を得た。

（4）人づくり、人つなぎ事業

〇ふく楽カフェ　まとめ冊子の発行

〇福こい縁結び

①秋こい・まちや縁結び（近江八幡まちや倶楽部にて、9 月 18 日開催）

男性 14 名、女性 12 名、計 26 名参加。カップル成立　6 組

②春こい♥大津 de Hawaii 縁結び（旧大津公会堂にて、3 月 17 日開催予定のところ、インフルエンザ、職場事情等による欠席者が多数でたためやむなく中止）

（5）広報活動

〇えにし通信　　4回発行（5月、8月、11月、3月）

〇年次レポート　「えにし白書」

〇ニュースレター（ハローわくわくニュースレター、子ども食堂だより）

〇ホームページやフェイスブックでの広報

【人材部門】

＜介護・福祉人材センター＞

経 1　介護・福祉人材センターの機能強化

介護・福祉人材センターの実施する介護・福祉人材の確保・定着の取組みについて、関係機関との連携を図り、事業を推進した。

平成29年度においては、無料職業紹介所業務の実施と併せて、①介護・福祉の職場で働く人たちの登録制度の広報・推進　②合同就職説明会の開催　③求職者の方への就職支援の一環として、各地域による施設見学会・交流会（ふく楽Café）を取組み、福祉人材の福祉職場への誘致を図った。

経 2　未就業者の参入促進

■職場体験事業の実施

体験終了時に相談員が事業所の職員とともに振り返りを行い、本人の意向確認や、今後の支援の方向性について考える場を持ち、その後の継続支援に役立てた。

〔体験受入施設〕

受入登録７２施設　　内実施３１施設（高齢者福祉施設・障害児者福祉施設）

〔体験者数〕４５人　（延べ　６２人）

一般：２６人　高校生：１９人

	高　校　生					延べ人数
	１日	２日	３日	４日	５日	
体験者数	１３人	３人	２人		１人	３０人
男性	４人	１人				
女性	９人	２人	２人		１人	

	一　　般					延べ人数
	１日	２日	３日	４日	５日	
体験者数	２４人		１人		１人	３２人
男性	７人		１人			
女性	１７人				１人	

内、Ｈ２９湖北　体験者数７人（延べ１０人）　実施施設：４施設

■求職者に対する伴走型支援の実施

介護・福祉人材センターへの来所者や出張相談等で相談に応じた求職者に対し、介護・福祉の職場体験をとおして経験をしていただく一方で、職場体験の最終日には事業所の職員の方と共に振り返りを行い、今後の就職支援の方向性を検討するなど、それぞれに対応した就職支援を実施。

また、事業所からのスカウトサービスや、登録者個々の状況に合った求人情報の提供や施設見学、資格取得支援などを行った。

■就職後のフォローアップ

マッチングによる就労者すべての方に対し状況確認を行い、離職されていた方には改めて相談支援を行い、就労中の方には離職防止・定着支援を含めた相談支援を行った。

■介護・福祉の職場で働く人たちの登録制度の検討と制度設計

介護福祉士会と協力体制を構築し介護福祉士会会員への案内、登録依頼をおこなった。また、研修センター開催の研修会に参加されている有資格者、これから資格を取得される方に対して広報や登録誘致を行った。さらに、人材センターの登録求職者への案内、実務者講習を実施されている施設等へのチラシ配布や説明会を実施。一定の効果がみられた。

登録者数　２６２人

■就職支援研修・案内

資格取得のための養成校のプログラムに職員を派遣し、人材センターの事業や制度の説明、案内を行った。

【介護労働安定センター・実務者研修】
〔期　日〕　平成２９年　９月２６日（火）（受講者３５名）
【介護労働安定センター・初任者研修】
〔期　日〕　平成３０年　１月１２日（金）（受講者９名）
【ユウコム・初任者研修】
〔期　日〕　平成２９年１０月３１日（火）（受講者７名）
【ユウコム・実務者研修】
〔期　日〕　平成２９年１２月２２日（金）（受講者１４名）
【スタック・初任者研修】
〔期　日〕　平成２９年１２月２５日（月）（受講者１５名）
〔期　日〕　平成３０年　１月１２日（金）（受講者　９名）
〔期　日〕　平成３０年　２月２３日（金）（受講者１５名）

■無料職業紹介所の紹介、採用実績

	紹介・応募数	採用数
中　　央	７２人	３６人
湖　　北	２７人	１１人
合　　計	９９人	４７人

３　再就業希望者への就労支援に関する取組

離職介護福祉士等届出制度の広報啓発を行い、在的有資格者のニーズに応じた、情報提供を実施

■離職介護福祉士等届出制度　登録者数　２６２人（再掲）

■再就職準備金貸付事業等の実施

［介護福祉士再就職準備金］
貸付決定件数　　１０件　　２，０００，０００円

［介護福祉士実務者研修受講資金］
貸付決定件数　１６９件　２５，７１７，８７９円

［保育士再就職準備金］
貸付決定件数　　３７件　１４，２００，０００円

［保育料の一部貸付］
貸付決定件数　　６４件　１５，３８８，１２５円

［保育補助者の雇上］
貸付決定件数　　１件　　２，９５３，０００円

４　就業者の介護・福祉業界への定着支援の取組

（１）新入職員の５年定着支援の取組

①実行委員会方式による合同入職式の開催

開催日　平成２９年５月１７日（水）
会　場　琵琶湖ホテル
参加者　７３名
内　容　式典　知事からのメッセージ、入職者代表メッセージ、
伊藤美紀ビデオメッセージ
講演　（社福）ウエルガーデン　法人本部採用企画室
室長　杉本浩司
交流会

実行委員会/ 滋賀県老人福祉施設協議会、一般社団法人滋賀県介護老人保健施設協会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、滋賀県ホームヘルパー協議会、特定非営利活動法人街かどケア滋賀ネット、一般社団法人滋賀県介護福祉士会、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県介護福祉士養成施設協会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、滋賀県

②　従事後３年目・５年目のフォローアップ交流研修会の開催　　受講者数(実)
・キャリアデザイン研修　　１日×１コース　　５５人

（２）介護・福祉従事者に対する相談支援の実施

①　介護福祉士会・社会福祉士会の協力による「なんでも相談」の実施

介護・福祉従事者のワークライフに関して、現場経験のある介護福祉士や社会福祉士が相談を受け、介護・福祉の従事者としてのキャリアアップや、働き続けていけるよう助言を行ない、定着できるよう支援した。

実施期間　平成２９年５月１日～平成３０年３月３１日
実施方法　月～金曜日　１０時～１６時まで　電話による相談(必要に応じ面接相談)
相談件数　５９件

相談内容

1. 職場内対人関係	１７件
2. 仕事と家庭・プライベートとの両立	２件
3. 職場のストレス(1. 以外)	８件
4. 資格取得等キャリアアップ	１３件
5. 支援技術等ノウハウ	２件
6. その他	１７件
合計	５９件

（3）メンター制度とＯＪＴの推進

職場内における研修体制やスーパービジョンが実施できる人材育成を含め、人材の育成定着について周知できるよう研修会を実施した。

また、職場内研修支援事業として、出前講座や登録講師による派遣研修の活用による職場内研修などを支援した。

①ＯＪＴ推進研修　　受講者数(実)

３日×１コース　　４８人

②メンター育成及び支援員派遣事業の実施

			受講者数(実)
・メンター育成研修	基礎コース	２０事業所	２５人
	定着支援コース	１１事業所	１５人
・メンター育成支援員派遣事業の実施(一人のメンターに２回巡回訪問)			
・メンターフォローアップ研修		１４人	
・メンター成果報告会		１３人	
・メンター事業実施事業所懇談会（継続実施事業所の担当者）		５事業所	５人

メンター制度を利用している職場においては、新人職員、メンターの力量が高まるとともに、新人職員の早期離職防止につながっているとの声がある。

今年度初参加事業所は４事業所である。

③出前講座(無料講師派遣)の実施

職場内研修支援事業として、介護福祉士会、社会福祉士会等と連携し、無料講師派遣実施。また、その他団体を含め有料講師を紹介。

派遣依頼受付数　７３件　　無料講師派遣数　５０件　　キャンセル等　　３件

有料講師紹介　　１５件　　自事業所対応等　５件

研修テーマ内訳(受付内容)

リスクマネジメント	４件	権利擁護・意思決定支援	４件
認知症の方の具体的対応	10 件	身体拘束ゼロ・虐待防止	10 件
福祉用具と介護技術	10 件	他職種協働・連携	１件
記録の書き方・アセスメント	10 件	働きやすい職場づくり	５件
コミュニケーション・接遇	10 件	その他	８件

④職場内研修支援事業の実施

職場内研修支援事業として、登録講師制度を実施。講師等を紹介。

登録講師　　９名　　相談件数２５件　　⇒　登録講師派遣回数　２２件

研修テーマ別内訳

接遇・マナー	１５件	コミュニケーション	１件
介護技術	２件	ストレスマネジメント	１件
障害の理解	３件	その他	３件

５　高校生・大学生に対する人材確保

①福祉入門スクール（高校生向け）の開催

〔学校数〕１校　１回

〔受講数〕４５人（受講生徒数）

高校名	実施日	対象・人数	講師
八幡高校	２月２６日（月）	看護類型　２年生（45 人）	(社福)幸寿会 介護・福祉人材センター

②ふく楽Ｃａｆｅ（介護・福祉の現場で働く現役職員と大学生の交流会）の開催

大学生が介護・福祉の仕事を進路として選択するよう、学校訪問を行い・事業所と連携した「ふく・楽ｃａｆｅ～縁～（～ふくしの仕事と楽しく生きる～)」（介護・福祉の現場で働く現役職員と大学生の交流会）の開催、体験活動や就職支援活動(講義)を実施した。

【「ふく・楽ｃａｆｅ～縁～（～ふくしの仕事と楽しく生きる～)」】

会　場	実施日	対象・人数
聖泉大学	９月２６日（火）	学生（50 人）

【就職支援ガイダンス・大学生との交流会】

学校名	実施日	対象・人数
華頂福祉専門学校	５月３０日（火）	２年生（15 人）
聖泉大学	１１月２１日(火)	３年生(60 人)
花園大学	１１月２７日（月）	３回生（21 人）
京都ＹＭＣＡ国際福祉専門学校	１月３１日（水）	１年生（10 人）
龍谷大学	２月３日（土）	ＯＢ・ＯＧ訪問会（約 100 人）
佛教大学	３月　９日（金）	佛教大学就職支援相談ブース

③介護福祉士修学資金等貸付事業、保育士修学資金等貸付事業の実施

［介護福祉士修学資金］

ⅰ．就労による返還免除者数　５４人

ⅱ．就労による返還猶予者数　１３２人（平成２１年度～）

ⅲ．貸付継続者数　５２人（平成２７年度～）

ⅳ．返還者数　　５６人（平成２７年度～）

【平成２９年度貸付】

〔申請件数〕２５件

〔決定件数〕２５件（うち生活費加算３件）　計４２，６８３，３６０円

〔平成２９年度 入学後貸付決定者　内訳〕

学校名	人数
びわこ学院大学短期大学部（２年制）	１０人
京都ＹＭＣＡ国際福祉専門学校（２年制）	１人
京都医療福祉専門学校（２年制）	１２人
京都福祉専門学校（２年制）	１人
若狭医療福祉専門学校	１人
合　計	２５人

［保育士修学資金］

ⅰ．就労による返還猶予者数　２９３人（平成２５年度～）

ⅱ．貸付継続者数　３５３人（平成２５年度～）

ⅲ．返還者数　８６人（平成２５年度～）

【平成２９年度貸付】

〔申請件数〕１４５件（追加募集申請　１１件）

〔決定件数〕１４５件（うち生活費加算１２件）

（追加決定件数　１１件　うち生活費加算１件）計２２２，２１７，１６０円

〔平成２９年度 入学後貸付決定者　内訳〕

	養成校名	人数
2年課程	滋賀短期大学	３５人
	滋賀文教短期大学	１４人
	京都文教短期大学	２７人
	龍谷大学短期大学部	１２人
	大谷大学短期大学部	２人
	京都聖母女学院短期大学	３人
	華頂短期大学	１１人
	池坊短期大学	５人
	京都保育福祉専門学院	人
	びわこ学院大学短期大学部	４人
	貞静学園短期大学	１人
4年課程	びわこ学院大学	８人
	京都橘大学	６人
	佛教大学	４人
	京都文教大学	３人
	花園大学	２人
	京都ノートルダム女子大学	１人
	京都造形芸術大学	１人
	名古屋芸術大学	１人
	京都光華女子大学	２人
	京都女子大学	１人
	関西福祉大学	１人
	日本福祉大学	１人
合計		１４５人

６　出向く就職相談の実施

①出張相談、巡回相談の実施

一人でも多くの新規就業者を獲得するため、各地域に出向き、次のとおり相談支援活動を実施。開催。各地域で「ふく楽　Cafe」や、新たな試みとして「施設見学会」を開催した。

■出張相談・巡回相談

【ヤングジョブセンター滋賀】【草津市】
〔相談日〕　毎月第３火曜日　延べ１２回＋１回（依頼による）
〔件　数〕２件（新規登録２名）

【滋賀マザーズジョブステーション】【近江八幡市】
〔相談日〕毎月第４金曜日　延べ１２回
〔件　数〕６件（新規登録５名）

【ハローワーク彦根】【彦根市】
〔相談日〕毎月最終火曜日　延べ１２回
〔件　数〕９件

【シニアジョブステーション滋賀】【大津市】
〔相談日〕毎月第２木曜日　延べ１２回
〔件　数〕２件

【ハローワークでのガイダンス・相談の実施】
大津　　毎月第４木曜日　　延べ１２回　（参加者　１１７人、相談　７人）
（内　新規登録４名）
彦根　　毎月第４火曜日　　延べ１２回　　（参加者　１３１人、相談　　７人）
（新規登録３名）
長浜　　毎月第３火曜日　　延べ１２回　　（参加者　１３０人、相談　　４人）
（内　新規登録５名、採用１名）
草津　　毎月第３火曜日　　延べ１２回　（参加者　８５人、相談　　１３人）
（内　職場体験２名、新規登録２名、採用２名）
甲賀　　毎月第２水曜日　　延べ１２回　　（参加者　１０５人、相談　８人）
東近江　偶数月第３水曜日＋５月　延べ７回（参加者　１３４人、相談　１１人）
（内　職場体験１名、新規登録２名）

【草津ハローワークの雇用保険受給者向け説明においてＰＲ】
〔実施日〕毎週金曜日　延べ２１回
〔参加者数〕　延べ１，２５５人

【長浜市役所各支所巡回】
〔相談日〕毎月１回　　延べ１２回
〔件　数〕２件

【米原市役所各庁舎巡回】
〔相談日〕毎月１回　　延べ１２回
〔件　数〕１件

【高島市役所】
〔相談日〕毎月１回　　延べ４回
〔件　数〕４件

■商業施設出張相談
【モリーブ】【守山市　商業施設】
〔相談日〕　　平成２９年９月２９日(金)１０：００～１６：００
〔相談件数〕　１件

【草津イオン】【草津市　商業施設】
〔相談日〕　　平成２９年１０月５日(木)１０：００～１６：００
〔相談件数〕　２件

【アルプラザ堅田】【大津市　商業施設】
〔相談日〕　　平成２９年１１月１０日(金)１０：００～１６：００
〔相談件数〕　５件

【草津イオン】【草津市　商業施設】
〔相談日〕　　平成３０年２月８日(木)１０：００～１６：００
〔相談件数〕　３件

■ふく楽Ｃａｆé　～ふくしの仕事を楽しく生きる～
高齢施設・障害者施設・児童施設の職員(先輩職員)から、様々な雇用形態、資格の有無、事業所支援等についてのお話、小グループでの懇談会
【ふく楽 Cafe の開催】
ｉ.〔開催日〕平成２９年７月２日（日）
〔会　場〕びわこ大津プリンスホテル
〔内　容〕県社協主催「第１回福祉職場の合同就職説明会」において、福祉の現場職員・先輩職員との交流会
［参加者］　約５０名

ⅱ.〔開催日〕平成２９年１０月２３日（月）
〔会　場〕長浜市民交流センター
〔内　容〕長浜市就職説明会（長浜市との共催事業）での“ふく楽 Café”開催高齢施設･障害者施設の職員(先輩職員)から、様々な雇用形態、資格の有無、事業所支援等についての講和、小グループでの懇談会
［参加者］　９名

ⅲ.〔開催日〕平成２９年９月２６日（火）【再掲】
〔会　場〕社会福祉法人八起会
〔内　容〕聖泉大学の授業（就職活動）の一環として、大学の先輩職員のいる法人にて、交流会高齢施設の職員(先輩職員)から、様々な雇用形

態、資格の有無、事業所支援等についての講和、小グループでの懇談会

［参加者］　約５０名

ⅳ.〔開催日〕平成２９年１１月３０日（木）

〔会　　場〕フェリエ南草津

〔内　　容〕本会の登録求職者への就職支援の一環として、高齢施設の職員（先輩職員）から、様々な雇用形態、資格の有無、事業所支援等についてのおはなし、小グループでの交流会

［参加者］　７名

ｖ.〔開催日〕平成２９年１２月１４日（木）

〔会　場〕G-ＮＥＴしが　男女共同参画センター

〔内　容〕本会の登録求職者への就職支援の一環として、高齢施設の職員（先輩職員）から、様々な雇用形態、資格の有無、事業所支援等についてのおはなし、小グループでの交流会

［参加者］　２名

ⅵ.〔開催日〕平成３０年３月６日（火）

〔会　場〕ホテルニューオウミ

〔内　容〕県社協主催「第２回福祉職場の合同就職説明会」において、先輩職員との交流会高齢施設・障害者施設（先輩職員）から、様々な雇用形態、資格の有無、事業所支援等についてのお話、小グループでの懇談会

［参加者］　約１０名

■福祉施設見学会

人材センターの登録事業所において、施設見学会および当施設の求人情報や福利厚生、資格取得支援など施設の取組み等を説明し、福祉職場への関心を高め就労につなげることを目的とし実施した。

【施設見学会】

ⅰ.〔会　　場〕　社会福祉法人よつば会　（大津市）
特別養護老人ホーム風流里（ふるさと）

〔日　　時〕　平成２９年１１月６日（月）１３：３０～１５：００

〔参加者数〕　３名

ⅱ.〔会　　場〕　社会福祉法人甲賀会（甲賀市）
特別養護老人ホーム甲賀荘

〔日　　時〕　平成２９年１１月２１日（火）１３：３０～１５：００

〔参加者数〕　２名

ⅲ.〔会　　場〕　社会福祉法人野洲慈恵会　（野洲市）
特別養護老人ホーム　ぎおうの里

〔日　　時〕　平成２９年１２月１９日（火）１３：３０～１５：００

〔参加者数〕　３名

ⅳ.〔会　　場〕　社会福祉法人ほのぼの会（近江八幡市）
特別養護老人ホームふれあい
〔日　　時〕　平成２９年１２月２０日(水)１３：３０～１５：００
〔参加者数〕　２名

②福祉職場の合同就職説明会の開催および事前説明会の実施　（７月・３月実施）

■第１回　「福祉職場の合同就職説明会」参加法人向け事前勉強会

【南会場】
〔日　時〕平成め２９年６月１６日（金）１４：１０～１４：５０
〔会　場〕県立長寿社会福祉センター　１階　大教室
〔内　容〕・実務者研修貸付・再就職準備金・離職時の届出制度について
・就職説明会の概要や参加者等の傾向
・介護・福祉人材センターの役割
～求職者相談、施設職場体験、見学～
［参加者］　８０名

【北会場】
〔日　時〕平成２９年６月１３日（火）１４：１０～１４：５０
〔会　場〕長浜市民交流センター　１階　ふれあいホール
〔内　容〕南会場と同じ
［参加者］　４６名

■第１回「福祉職場の合同就職説明会」
〔開催日〕平成２９年７月２日（日）
〔会　場〕びわ湖大津プリンスホテル
〔内　容〕
第１部　　司会：高嶋ひとみ（フリー司会者）
福祉の職場　就職セミナー
講師：松尾やよい　夢こらぼ主宰
コミュニケーション能力を身につける
就活！ブースの回り方を攻略しよう
ブースを探そう！自分作戦タイム
福祉職場リレートーク（４０法人）
第２部　　福祉の職場説明会
〔出展法人数〕　１００ブース
〔求人数〕　１１５０人
〔参加者数〕　２１６人（学生１１７人・社会人９９人）

■第２回　「福祉職場の合同就職説明会」参加法人向け事前勉強会

【南会場】
〔日　時〕平成３０年２月１６日（金）１３：３０～１５：００
〔会　場〕県立長寿社会福祉センター　１階　大教室

〔内　容〕・近年の「福祉職場の就職説明会」の状況
・「合同就職説明会」開催内容について
・会場説明・ブースの設営について
・その他（Q&A）
［参加者］　４１名

【北会場】
［日　時］平成３０年２月１９日（月）１３：３０～１５：００
［会　場］長浜市民交流センター　１階　ふれあいホール
［内　容］南会場と同じ
［参加者］　１６名

■第２回「福祉職場の合同就職説明会」
〔開催日〕平成３０年３月６日（火）
〔会　場〕ホテルニューオウミ
〔内　容〕
第１部　　司会：高嶋ひとみ（フリー司会者）
福祉の職場　就職セミナー
講師：杉本浩司　社会福祉法人ウエルガーデン法人本部
採用企画室長
「福祉職」のこれからについて語ります！
求められる福祉人材とは！
福祉職場リレートーク（４０法人）
就活！ブースの回り方を攻略しよう
ブースを探そう！自分作戦タイム
第２部　福祉の職場説明会
〔出展法人数〕　　８７ブース
〔求人数〕　　９９２人
〔参加者数〕　　１５７人　（学生６３人・社会人９４人）

■湖北地域福祉の職場説明会（福祉のしごとセミナー）（長浜市との共催事業）
【参加事業所向け事前勉強会】
〔開催日〕平成２９年９月１２日（火）
〔会場〕長浜市役所
〔内容〕介護・福祉人材の確保に向けて

【湖北地域福祉の職場説明会】
〔開催日〕１０月２３日（月）
〔会　場〕長浜市民交流センター
〔内　容〕
第１部　　福祉のしごとセミナー
ＤＶＤ「いっしょに働きませんか？
～介護･福祉の職場で働くこと～」上映
福祉の職場から

出演：戸田光子（社会福祉法人ひだまり　縁ひだまり）
木下奈美（社会福祉法人ひかり福祉会　友愛ハウス）
第２部　　福祉の職場説明会・相談コーナー
〔出展法人数〕２２ブース
〔参加者数〕　１６人

7　介護分野への高齢者の就労促進

介護分野への高齢者の就労促進のために、介護福祉会、社会福祉施設と連携し高齢者を対象とした「福祉のお仕事入門講座(介護入門)」研修会や就労相談を実施。

〔開催日〕

第１回　（講義）３月　９日（金）　（実技）３月１５日（木）又は１９日(月)
（会場）長寿社会福祉センター　〔参加者〕　１５人

第２回　（講義）３月１４日（水）　（実技）３月１５日（木）又は１９日(月)
（会場）長寿社会福祉センター　〔参加者〕　１８人

第３回　（講義）３月１４日（水）　（実技）３月１４日（水））
（会場）G-ＮＥＴしが　〔参加者〕　２０人

第４回　（講義）３月２２日（木）　（実技）３月２２日（木））
（会場）特別養護老人ホーム朝日の里　〔参加者〕　１３人

第５回　（講義）３月２３日（水）　（実技）３月２３日（水）
（会場）長寿社会福祉センターセンター　〔参加者〕　２５人

【参加者計　９１名】(内求職登録　１０名)

＜研修センター＞

１　キャリア研修と課題別研修の実施

県内福祉関係従事者の質の向上を図ることを目的に、キャリア研修および課題別研修を実施した。また、介護福祉士資格取得支援として、中央福祉学院が実施する介護職員実務者研修通信課程のスクーリングを実施した。

（１）キャリア研修の実施

		受講者数(実)
①　新任職員基礎研修		
・介護入門講座	１日×２コース	９３人
・福祉職場で働くにあたっての基礎・基本	４日×３コース	１６２人
②　中堅職員基礎研修	３日×２コース	１４８人
③　チームリーダー基礎研修	４日×１コース	６９人
④　管理者キャリアアップ研修	２日×１コース	５１人

（２）課題別研修の実施

①　介護過程の基礎を学ぶ	２日×１コース	６１人
②　高齢者の排泄ケアの理解	２日×１コース	３５人
③　発達障害の基本	１日×１コース	１１Ｉ人
④　対人援助のあり方と事例検討を学ぼう	２日×１コース	４３人
⑤　相談援助の本質と基本的な面接技術	１日×１コース	４６人

（３）介護職員実務者研修通信課程スクーリング　　４１人

①　医療的ケア演習	２日×２コース
②　介護過程Ⅲ	８日×２コース

（４）ファシリテーター養成研修

実践に役立つスーパービジョン研修（主任介護支援専門員対象）

３日×１コース　　６４人

２　介護支援専門員養成研修の実施

		修了者数(実)
（１）介護支援専門員実務研修	１６日×２コース	３１５人
（２）介護支援専門員現任研修	９日×３コース	１７２人
（３）介護支援専門員更新研修	６日×５、５日×１コース	３４１人
（４）介護支援専門員再研修	８日×１コース	１３２人
（５）主任介護支援専門員養成研修	１２日×１コース	６４人

３　認知症関連従事者研修の実施

		修了者数(実)
（１）認知症介護基礎研修	１日×６コース	７０８人
（２）認知症介護実践者研修	８日×３コース	３１９人
（３）認知症介護実践リーダー研修	１０日×１コース	４４人
（４）認知症介護実践リーダーフォローアップ研修	５日×１コース	６人
（５）認知症対応型サービス事業管理者研修	２日×２コース	７９人
（６）認知症介護サービス事業開設者研修	１日×１コース	１１人

（７）小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修　２日×２コース　　４０人
（８）権利擁護推進員（身体拘束廃止に向けた推進員）養成研修
４日×１コース　　２８人
（９）身体拘束廃止セミナー　　１日×１コース　　２９３人

■　全　５１コース　実施日数　２３３日　受講数(実)　３，４７６名

＜レイカディア振興担当＞

１　高齢者の健康と生きがいづくりの推進

高齢者がスポーツや文化活動に親しむ機会や日ごろの生きがいづくり活動を発表する場の提供を通じて、また高齢者自らが地域活動に参画することによって、健康や生きがいに対する意識の高揚を図るとともに、地域間・世代間の交流を促進し、社会参加への底辺拡大を推進した。

(1) レイカディア・シルバー作品展

・出品全作品の展示

開催日　平成２９年５月３０日（火）～６月４日（日）

会　場　滋賀県立文化産業交流会館　イベントホール

・入賞（佳作を除く）作品の展示

開催日　平成２９年６月６日（火）～ １１日（日）

会　場　センター

・来場者数　１，１８８人

【 作品出展数 】

部門人	出 展 数	推　奨（全国大会出展）	特　選	後援団体賞	佳　作	かいつぶり賞	最高齢者賞
日本画	３１	１	１	２	６	１	
洋　画	７５	２	３	３	１４		１
彫　刻	８	２	－	１	２	１	
工　芸	２４	２	１	２	２	１	
書	５３	２	２	３	１１	１	
写　真	１３１	２	３	４	１４	１	
合　計	３２２	１１	１０	１５	４９	５	１

(2) スポーツ等交流大会開催事業

①ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会スポーツ等交流大会の開催

―スポーツ等交流大会―

種　　目	開　催　日	会　　場
卓　球	４月２３日	安曇川総合体育館
テニス	４月２１日	県立希望が丘文化公園テニスコート
ソフトテニス	５月　７日	県立長浜ドーム
ソフトボール	５月３日、６日	大津市　和邇市民運動広場
ゲートボール	５月１０日～１２日	南部：竜王町総合運動公園ドラゴンハット 北部：山東グリーンパーク
ペタンク	４月１８日	大津市　和邇市民運動広場
三世代交流マラソン	１１月１２日	近江八幡市立運動公園周辺及び水郷周辺コース
弓　道	５月２１日	彦根市営弓道場
剣　道	４月１６日	滋賀県立武道館

グラウンド・ゴルフ	9 月 2 日～9 月 24 日，10 月 22 日	希望が丘文化公園ＧＧ場他
太極拳	８月２７日	草津市立草津クレアホール
ソフトバレーボール	４月３０日	草津市市民体育館
サッカー	４月　９日	ビックレイク（守山市）
水　泳	５月２１日	県立障害者福祉センター
ウォークラリー	５月２８日	大津市内
ラグビーフットボール	毎週土曜日練習	東レ周山グラウンド
ダンススポーツ	６月　４日	瀬田公園体育館
ゴルフ	１０月１０日 １０月３０日	蒲生子ゴルフ倶楽部 琵琶湖カントリー倶楽部
マレットゴルフ	５月１６日	野洲市吉川　びわこマイアミランド

―文化等交流大会―

種　　目	開　催　日	会　　場
囲　碁	５月　５日	彦根東高校第２別館
将　棋	４月１６日	コミュニティーセンターやす
健康マージャン	５月２８日	草津市立市民交流プラザ会議室
俳　句	１０月２９日	大津市生涯学習センター

―びわこ交流大会―

種　　目	開　催　日	会　　場
ボート	５月２７日	県立琵琶湖漕艇場
登　山	１０月１５日	比良山系

②ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会スポーツ等交流大会説明会の開催

開催日　　平成３０年１月２７日（土）

会　場　　センター

参加者　　１５名

⑶ 全国健康福祉祭選手派遣事業

①滋賀県選手結団式・全体説明会

開催日　　平成２９年８月２１日（月）

会　場　　センター

参加者　　１２０名

②第３０回全国健康福祉祭　あきた大会

開催日　　平成２９年９月９日（金）～１２日（火）

開催地　　秋田市ほか（１７市町）

派遣種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、マラソン、ゴルフ、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、太極拳、ソフトバレーボール、ウォークラリー、サッカー、水泳、ラグビーフットボール、囲碁、将棋、健康マージャン マレットゴルフ（２１種目）

派遣人員　１４５人（役員を除く）

(4) 高齢者自主活動グループ新規立ち上げ支援事業

①高齢者自主活動グループ新規立ち上げ支援事業助成金

地域で見守りや生活支援が必要な高齢者または孤立しがちな世帯に対し、必要な援助を行う高齢者の自主活動グループを新規に立ち上げ、活動するための必要な経費を助成した。

・申請数　２１グループ

・助成数　１０グループ　８１１，８４３円

・助成グループの主な活動内容

高齢者への支援（ワンコインカフェ・居場所づくり・外出サポート・生活支援他）

子ども家庭支援（子ども食堂への支援）

地域づくり（地域の見守り活動等）

②高齢者自主活動グループ　活動報告会・情報交換会

開催日　平成３０年３月１９日（月）１３：００～１６：００

会　場　センター

参加者　５７名

内　容　活動報告

・「子どもに寄り添い＆孤独高齢者に寄り添い＆自然に寄り添う事業」

NPO　YORISOI　network　（近江八幡市）

・「大石東町　ふれあいサロン（高齢者福祉施設と連携したサロン活動）」

鹿跳倶楽部　（大津市）

・「住居、家庭生活設備の軽補修、改修作業」

生活支援ボランティアＨＥＬＰ（守山市）

グループ討議

「いきいき元気グループ活動の秘訣　～各グループの活動から学ぶ～」

(5) シニアの社会参加に関する意識調査報告会兼レイカディア振興意見交換会の開催

レイカディア振興に関する事項について、学識経験者、関係団体、行政機関より、幅広い意見をいただいた。

開催日　平成３０年３月１５日（月）１３：３０～１５：３０

会　場　センター

参加者　１１名

内　容　・シニアの社会参加に関する意識調査報告会

滋賀大学地域連携研究センター　教授　神部純一

・意見交換「レイカディア大学の取り組みについて」

【成　果】

レイカディア・シルバー作品展、スポーツ等交流大会へは多くの高齢者が参加し、その中から選抜された選手や優秀作品が全国健康福祉祭においても活躍するなど、健康づくりや生きがいづくりの推進に寄与することができた。

高齢者自主活動グループ新規立ち上げ支援事業については、グループの新規立ち上げ・運営に対する助成を通して、地域で見守りや生活支援が必要な高齢者に対する支援につながった。

２　学習機会の提供による地域の担い手の養成

高齢者が時代の要請する実践的な新しい知識や教養、技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援するため、レイカディア大学の運営をおこなった。

(1) レイカディア大学の運営

【修業年限】　２年間

【入学資格】　現に県内に居住する満６０歳以上の者で、大学設置の趣旨を理解し、学習意欲に富み、通学および各種講義に出席しうる健康を有する者。

【授 業 料】　各学年　前期２５，０００円、後期２５，０００円

－学習内容・時間－

【必修講座】

学習領域	主な学習内容	学習時間	
		1 年	2 年
人間理解	福祉、人権、健康、保健、安全、仲間づくり、家族	草津校 112 時間 (28 日間) 米場校 108 時間 (27 日間)	草津校 110 時間 (28 日間) 米場校 100 時間 (27 日間)
郷土理解	自然、歴史、文化、芸術、自然保護、環境保全、街づくり、地域振興		
社会参加	政治、経済、社会、国際理解、生涯学習、ボランティア（地域活動体験学習等)、自己実現		
学校行事	オリエンテーション、入学式、卒業式、地域活動体験学習報告会、課題学習報告会、ニュースポーツ大会、大学祭、自主活動、ボランティアの日		

【選択講座】

学習領域	主な学習内容	学習時間		
		1 年	2 年	合計
園芸学科 (草津校A.B・米原校)	庭木・果樹の作り方、土壌・施肥管理、剪定、野菜・山野草の育て方、寄せ植え、その他	88 時間× 3 ｸﾗｽ	88 時間× 3 ｸﾗｽ	528 時間 (132 日間)
陶芸学科 (草津校)	作陶、素焼、施釉、本焼、陶芸の科学・歴史、その他	88 時間	88 時間	176 時間 (44 日間)
びわこ環境学科 (草津校)	自然の姿・仕組み、環境汚染、環境に優しい暮し（ゴミの軽減化、エコ生活等)、水質保全、里山保全、その他	88 時間	88 時間	176 時間 (44 日間)
地域文化学科 (草津校)	近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	88 時間	88 時間	176 時間 (44 日間)
北近江文化学科 (米原校)	北近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	88 時間	88 時間	176 時間 (44 日間)
健康づくり学科 (草津校・米原校)	高齢期の症状理解、老化予防、健康維持・増進（栄養、生活習慣、趣味と健康、ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ等）その他	88 時間× 2 ｸﾗｽ	88 時間× 2 ｸﾗｽ	352 時間 (88 日間)

合　　計	792 時間 (198 日間)	792 時間 (198 日間)	1,584 時間 (396 日間)

－学生数－　　（平成３０年３月末現在：人）

学　科　人	草津校		米原校		合　計
	40 期生	39 期生	40 期生	39 期生	
園芸学科	３３	４２	２７	２１	１２３
陶芸学科	２３	１７	－	－	４０
びわこ環境学科	１８	２２	－	－	４０
地域文化学科	２８	２０	－	－	４８
北近江文化学科	－	－	１７	１０	２７
健康づくり学科	２４	１４	１２	８	５８
計	１２６	１１５	５６	３９	３３６

○ 学生募集・入学状況

	草津校	米原校	計
定員	１４５人	７０人	２１５人
応募者	１３９人	６５人	２０４人
入学者	１３０人	５９人	１８９人
入学／定員	８９．６％	８４．２％	８７．９％

①地域活動体験学習・課題学習

地域活動体験学習では在校中に地域活動（ボランティア活動）を実際に体験し、地域との関わりや繋がりを自らつくり、地域の方々と共に課題に取り組む力を身につけた。また課題学習では学生自ら課題を見い出し、その課題に向けた取り組みをグループで実践し、卒業後の活動へとつなげた。

②大学祭

日頃の学びを発表・実践することを通じて学習をより一層深めるとともに卒業生や地域との交流を行った。

草津校　　開催日　　平成２９年８月２日（水）～４日（金）
　　会　場　　センター
　　来場者数　７８４名

米原校　　開催日　　平成２９年７月２６日（水）～２８日（金）
　　会　場　　滋賀県立文化産業交流会館
　　来場者数　４５９名

③ボランティアの日

実践的な地域活動につながるよう全員一丸となるボランティア活動の企画運営を学生自らが行った。

草津校　　開催日　　３９期　平成３０年３月１日（木）
　　４０期　平成３０年３月８日（木）

会　場　　センター
内　容　　講義「ボランティア活動について」
NPO YORISOI　network　事務局長　岡部　茂
講義「県営公園管理事業について」
県営びわこ文化公園指定管理者　近鉄ゆうグループ
※両日ともに、県営びわこ文化公園で公園環境保全体験を予定していたが、雨天のため中止

米原校３８期　開催日　平成２９年５月１６日（火）
会　場　胡宮神社、多賀大社
内　容　胡宮神社周辺整備、健康体操体験、歴史学習

米原校３９期　開催日　平成２９年５月２９日（火）
会　場　五先賢の館、小谷山１日回峰行コース
内　容　小谷山１日回峰行コースの整備作業

④公開講座・学校見学

必修講座、選択講座の一部を一般に公開し、学ぶ楽しさや喜びを体験する機会を設けた。また、本学を広く知っていただけるよう年間を通して実際の授業の様子や学習環境等を見学できる機会を設けた。

校名		開催日	受講者数	内容
草津校 （センター）	必 修 講 座	６月２３日	２８名	「少子高齢社会におけるライフスタイルと法 ～元気な高齢者が活躍できる社会を～」 滋賀大学　名誉教授　　大和田 敢太
		１２月２２日	２０名	「これからの人生と健康寿命～ 歩ける人生を長く～」 元米原市スポーツアドバイザー　遠山 汎
		２月２３日	２１名	「滋賀県の気象特性と防災気象情報の利用」 彦根地方気象台 防災気象官　竹下　誠
	選 択 講 座	６月２６日	７名	「健康と運動　メタボリックシンドローム予防」 京都女子大学　家政学部教授　寄本　明
		６月２８日	６名	「窯出し・完成作品を前にして」　　谷野 明夫
		６月２９日	４名	「『夜の声』(井上靖 著)）旅行作家　西本 椰枝
		７月　３日	７名	「球根と宿根草の育て方　ハンギングバスケットつくり」 フラワーアレンジメント講師　水島 たず子
		７月　５日	４名	「風呂敷再発見」日本風呂敷協会　西澤　良子
米原校 （滋賀県立文化産業交流会館）	必 修 講 座	５月１８日	４名	「雨森芳洲と生涯学習まちづくり 雨森芳洲庵」 館長　　平井 茂彦
		７月１３日	２０名	「健やかな眠りのために　～ゆっくり眠って認知症予防～」 中部大学生命健康科学研究所　宮崎 総一郎
		１２月２１日	３名	「アイマラ民族のミゲルが感じた日本とボリビアのつながり、そして違い」 Duo Koa　ミゲルリマ・ 浦田広美
		３月２２日	１２名	「日常生活の中でできるリハビリテーション 」 佛教大学 保健医療技術学部講師　七里 展子
	選 択 講 座	６月１５日	５名	「盆栽の育て方と増やし方　他」 能登川盆栽同好会長　大辻　敏雄
		６月１６日	３名	「健康と運動　健康寿命の延伸」 健康運動指導士　井花春美
		７月１１日	４名	「近江の農書について学ぶ　『製茶図解』を読む」　　滋賀民俗学会　理事　粕渕 宏昭

(2) 滋賀県レイカディア大学サポート隊との協働

レイカディア大学の運営サポートを目的に設置されている卒業生の組織である滋賀県レイカディア大学サポート隊と協働し、より良い大学運営を推進した。

具体的には学生募集・大学祭の支援、学生対象初心者パソコン講座の実施、レイカディア大学ホームページの運用管理、レイカディアだよりの発行と配布、選択講座助手、園芸学科の実習準備および学校行事にかかる校内環境整備等を実施いただくとともに、草津校サポート隊では新たな大学運営支援として校外学習の引率サポートを実施した。

(3) シニア世代を中心とした地域の担い手育成に関する情報交換会の開催

高齢者を対象とした地域の担い手づくりについての情報を共有する場として、市町行政、市町社協を対象として情報交換会を開催した。

開催日　　平成２９年１０月２７日（金）

会　場　　センター
参加者　　１０名

【成　果】
　レイカディア大学においては、地域活動の担い手として実践的な活動につながるカリキュラムにより地域活動に重点を置いた学習成果を得ることができた。
　また、公開講座は、必修講座については夏期、冬期、春期にわたって、選択講座については各学科の授業を一般に公開し、受講者から好評を得ることができ、県民に学習する糸口を提供するとともにレイカディア大学入学へつなげることができた。

３　社会福祉に関する情報、資料の収集および提供

　中高年者の生きがい・役割づくり・健康づくりについての啓発、普及を行うために、高齢期の社会参加や生きがいづくりの促進につながる情報、および健康に関する情報を発信し、豊かで生きいきとした長寿社会づくりについての意識を高めた。

（１）広報誌「じゅげむ」の発行
　発 行 日　平成２９年１２月２２日
　発行部数　８，０００部
　内　　容　「ねんりんピック特集」
　　ねんりんピックのススメ、ねんりんピック秋田大会の様子、滋賀県シルバー作品展　他
　発 行 日　平成３０年２月１６日
　発行部数　８，０００部
　内　　容　「シニアの地域活動特集」
　　シニアの行う地域活動紹介、地域活動をするポイント、助成金情報他
　発 行 日　平成３０年３月２３日
　発行部数　８，０００部
　内　　容　「人生１００年シニアを生きる～レイカディア大学４０周年～特集」
　　素敵に生きるシニアの紹介、レイカディア大学４０年のあゆみ他
　発 行 日　平成３０年３月２３日
　発行部数　８，０００部
　内　　容　「シニアの社会参加に関する意識調査（速報版）特集」
　　シニアの社会参加に関する調査報告の概要
（２）びわこシニアネットホームページの充実および参加促進
　・シニア IT ボランティアによるホームページの更新
　　［毎週月・木曜日　９：００～１６：００］
　・トップページの見直し、ブログの運用、文字サイズ調整等のアクセシビリティの向上
　・びわこシニアネットアクセス件数　９０１９件（年間）　　１日平均２４．７件

【成　果】
　広報誌「じゅげむ」は、健康で生きいきと活動を続けているシニアを記事にして紹介することによって高齢期の社会参加や生きがいづくりを促進することができた。また、「びわこシニアネット」においても、中高年者が社会活動や仲間づくり、シニアライフの楽しみ方などについての多様な情報を発信することができた。

４　長寿社会づくりに関する調査および研究の実施

シニアの社会参加に関する意識や就労に対する意識の他、生涯学習と社会参加の関係性を明らかにするために、滋賀大学地域連携研究センターや草津市、米原市と協働し調査研究を実施した。

(1) シニアの社会参加に関する調査研究会の開催

第１回　開催日　平成２９年８月７日（月）
会　場　センター
内　容　調査研究の趣旨・目的について
意識調査の内容について

第２回　開催日　平成２９年８月２８日（月）
会　場　滋賀県福祉用具センター
内　容　調査票の内容検討・確定

第３回　開催日　平成２９年１１月２８日（火）
会　場　センター
内　容　調査結果（仮集計）についての検討

第４回　開催日　平成３０年１月２６日（金）
会　場　センター
内　容　調査集計結果の最終報告、分析、まとめ

(2) シニアの社会参加に関する意識調査の実施

調査対象　草津市、米原市の６５歳以上の市民
標本数　２，５００名（草津市１，５００名、米原市１，０００名）
抽出方法　住民基本台帳を用いた無作為抽出
調査方法　質問紙による郵送調査
回収結果　１，３５３名（回収率　５４．１％）

(3) シニアの社会参加に関する意識調査報告会の開催　（再掲）

開催日　平成３０年３月１５日（月）
会　場　センター
参加者　１１名
内　容　シニアの社会参加に関する意識調査報告会
滋賀大学地域連携研究センター　教授　神部純一

(4) 調査報告書の発行

・「シニアの社会参加に関する意識調査　（速報版）特集」（再掲）
発 行 日　平成３０年３月２３日
発行部数　８，０００部

・「シニアの社会参加に関する調査」
発 行 日　平成３０年３月３１日
発行部数　２００部

【福祉用具センター】

1　福祉用具等の展示・相談および普及・啓発の実施

生活に密着した福祉用具の提供が求められている中、福祉用具に関する幅広い情報を入手し、利用者の自立生活や安全安楽な介護に向けて、多様な相談に対応できるよう努めるとともに、福祉用具の展示および試用貸出を行い、福祉用具の普及・啓発に取り組んだ。

(1) 福祉用具の展示・相談および正しい知識の普及・啓発

①福祉用具センター展示室の管理運営

現在６９５点の福祉用具を展示

②福祉用具展示用品の試用評価および貸出等による活用

試用評価貸出件数

分類別貸出用具件数			
入浴用品	４４件	移乗用具・リフト	４６件
トイレ用具	１８件	住宅関連	６件
歩行支援	４３件	コミュニケーション関連	１１件
自助具	９５件	家具・手すり	１件
衣類・靴	２２件	褥瘡予防	９件
車いす	１件	その他	５件
車いす付属品	２件	計	３０３件

適合の状況（複数回答）		評価結果	
結果	評価数	結果	評価数
すべて適合	１１３件	導入	６７件
本人との不適合	１１７件	同じ機能を有する別の製品	４３件
介護者と不適合	８件	見送り	１００件
使用環境と不適合	２４件	検討中	３０件
他の用具と不適合	１件	未試用	６３件
その他	４０件	計	３０３件

研修・展示等貸出実績

借用者	研修	展示等	その他	貸出点数
福祉関係機関・団体等	１４件	３件		１２０点
福祉用具取扱い事業所等	７件	２件		４１点
その他（大学ほか）	１件	５件	１件	２１点
計	２２件	１０件	１件	１８２点

③福祉用具展示相談会等の開催および参画

開催日	名称と主な内容	会　場	参加者数
8/4（金）	しが学校支援メニューフェア （福祉用具センター事業の啓発）	ピアザ淡海 （大津市）	１３４人

9/2（土）	じんけんフェスタしが 2017 （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	あいこうか市民ホール他（甲賀市）	２７２人
11/12(日)	東近江市平田地区文化祭 （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	東近江市トレーニングセンター（東近江市）	１０３人
11/30(木)	福祉用具セミナー・展示体験会 （セミナー・福祉用具の展示ほか） 詳細については別掲	県立長寿社会福祉センター	３０４人 (関係者含む)
H30 2/19（月）	難病従事者研修会(県東近江保健所) （福祉用具の展示・相談コーナー設置）	八日市アピア （東近江市）	１０人

④滋賀県福祉用具センター運営委員会（福祉用具普及検討委員会）の開催

開催日	協議事項および結果
第１回：平成 29 年９月４日	①新規展示福祉用具の選定について （27 点中 27 点採用） ②センター事業の実施計画・事業運営について
第２回：平成 30 年３月５日	①新規展示福祉用具の選定について （24 点中 21 点採用） ②廃番福祉用具の確認 （廃番用具については、展示室から除外） ③センター次年度事業計画について

⑤福祉用具・住宅改修についての情報収集および情報提供

情報収集を目的に次の展示会、会議等に参加した。また、情報提供については展示体験会を開催するとともにホームページの有効活用を行った。

・高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展〔バリアフリー2017〕（大阪市）
・中日本ブロック介護実習・普及センター連絡会議（石川県金沢市）
・国際福祉機器展〔HCR〕（東京都）
・全国福祉用具相談・研修機関協議会全国会議（東京都）
・自助具フォーラム 2017（本県開催）
・シーズ・ニーズマッチング交流会 2017（大阪市）

⑥福祉用具センター見学者等の受け入れ

・福祉用具センター来館者数

見学・視察（16 団体）	２３３人	研修受講者（延べ 31 日）	１，１４９人
見学・視察〔個人〕	２９５人	外部依頼研修等	８９７人
来所相談	１６１人	その他来館者	８６４人
福祉用具試用貸出	１９１人	計	３，７９０人

⑦福祉用具・住宅改修に関する専門的な相談対応

・相談内容と件数（複数の相談対応）

相談内容	件数	相談内容	件数
福祉用具の紹介	１４４件	住宅改修関係	１２件
福祉用具の選定・使用方法	１５９件	更生医療・補装具関係	１件

福祉用具の改造	１０８件	その他	０件
福祉用具関係その他	５８件	計	４８２件

※福祉用具センター利用者数

来館者	３，７９０人	来所以外の相談	２５２人
出前講座等	１，４０３人	計	５，４４５人

＜数値目標と実績値＞

■年間利用者数　　目標値：５，０００人　　実績値：５，４４５人

(2) 福祉用具に関わる依頼研修、体験学習等の実施

①地域、団体、学校等からの依頼研修の実施

〔来所〕１２件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
H29.6.22	適切な用具を選定するための注意点	県立リハビリテーションセンター	２０人
H29.7.24	福祉用具に関する理解	介護労働安定センター	３７人
H29.8.9	快適な居住環境整備と介護	県シルバー人材センター連合会	１７人
H29.10.13	現場で活躍する福祉用具	大津市シルバー人材センター	１５人
H29.10.26	福祉用具の選び方と使い方	滋賀医療技術専門学校	２４人
H29.11.14	福祉用具の選び方と使い方	滋賀医療技術専門学校	４６人
H29.11.16	快適な居住環境整備と介護	県社会就労事業振興センター	７人
H29.12.8	自立支援のための福祉用具に関する理解	大津赤十字看護専門学校	１８人
H29.12.14	自立支援のための福祉用具に関する理解	大津赤十字看護専門学校	１７人
H30.3.15	動作介助の基本、福祉用具の活用	介護・福祉人材センター	１９人
H30.3.19	動作介助の基本、福祉用具の活用	介護・福祉人材センター	１２人
H30.3.23	動作介助の基本、福祉用具の活用	介護・福祉人材センター	２５人

〔出前〕４件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
H30.1.15	コミュニケーションを支援する方法	大津市保健所	３０人
H30.2.21	福祉用具と住宅改修のアセスメントの視点	野洲市地域包括支援センター	５０人
H30.3.20	コミュニケーション機器の基礎知識等	県甲賀保健所	３０人
H30.3.30	福祉用具を活用しての移乗介助の方法	特養　ぎおうの里	２７人

②体験学習（高齢者疑似体験等）の実施

〔来所〕６件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
H29.6.6	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	県社会就労事業振興センター	８人
H29.11.6	高齢者疑似体験（インスタント・シニア） 車いす介助体験	滋賀県建設技術センター	２１人
H29.11.16	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	県社会就労事業振興センター	７人
H29.12.4	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	県社会就労事業振興センター	２人
H30.3.7	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	県バス協会	８人

H30.3.8	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	県バス協会	１８人

〔出前〕２７件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
H29.5.9	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	びわこ成蹊スポーツ大学	１６人
H29.5.24	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	米原市立河南中学校	３４人
H29.6.1	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	大津市立瀬田南小学校	９２人
H29.6.8	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	大津市立瀬田南小学校	６２人
H29.6.15	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	東近江市立愛東中学校	４４人
H29.6.22	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	大津市立大石小学校	３０人
H29.6.23	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	大津市立大石小学校	３０人
H29.9.16	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	㈱フィレッジ	１８人
H29.9.20	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	滋賀銀行(研修センター)	１０４人
H29.10.10	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	特別養護老人ホーム　誉の松	２４人
H29.10.20	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	県立八幡高等学校	２６人
H29.10.27	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	彦根市立南中学校	６５人
H29.11.2	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	米原市立柏原小学校	２５人
H29.11.10	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	東近江市立玉園中学校	７６人
H29.11.13	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	東近江市立玉園中学校	４０人
H29.11.15	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	湖南広域行政組合	９人
H29.11.17	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	湖南広域行政組合	８人
H29.12.8	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	草津市立志津南小学校	１０１人
H29.12.11	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	彦根市立東中学校	１３０人
H29.12.12	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	彦根市立東中学校	１０２人
H30.1.23	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	ヴォーリズ記念病院	１２人
H30.1.26	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	大津市立伊香立中学校	１６人
H30.2.8	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	甲賀市立甲賀中学校	２７人
H30.2.9	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	甲賀市立甲賀中学校	６３人
H30.2.23	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	彦根市立稲枝中学校	１１３人
H30.3.6	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	甲賀市立水口中学校	３５人
H30.3.22	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	甲賀市立土山中学校	２１人

(3) 関係機関・団体等との連携

地域リハビリテーションを推進する各機関、団体等と連携し、相談体制の充実を図った。また、福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所と連携し、福祉用具の普及促進を行った。

①県立リハビリテーションセンターとの連携

・県立リハビリテーションセンター更生相談係と一体化を図り、福祉用具相談プラザとしてワンストップでの相談対応を図った。

・福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。

・県立リハビリテーションセンターが事務局となる「多職種連携学会記念研究大会」の運営に参画した。

②福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所との連携
・福祉用具展示品の寄託・寄贈を得た。
・福祉用具セミナー・展示体験会への展示、当日スタッフ等の協力を得た。
・日本福祉用具供給協会滋賀ブロックと福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。

③福祉用具の改造・製作につながる機関、職能団体等との連携
・滋賀県介護支援専門員連絡協議会と福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。
・福祉用具セミナー・展示体験会において、滋賀県作業療法士会、滋賀県社会就労事業振興センターに協力を得た。

・高齢者施設に対するキャリアアップ事業（フィッティングと介助法）を実施した。

訪問施設名	内容	訪問回数
ぎおうの里	ポジショニングに関する相談	１回
松の浦湯治の郷	ポジショニングに関する相談	１回
カナリヤの家	ポジショニングに関する相談	１回

④患者会等の各団体との連携
・改造製作の依頼に対し、医療機関等との連携を図った。
・平成２９年９月２３日（土）・２４日（日）「難病コミュニケーション支援講座」（主催：滋賀県難病相談支援センター）を共催で開催した。

(4) ボランティア活動等の支援（自助具製作等の技術指導や情報提供の実施）
①自助具製作グループとの連携、事業への協力
・平成２９年１１月３０日（木）本県開催の「自助具フォーラム 2017」を共催で開催した。（福祉用具セミナー・展示体験会と同日開催）

(5) 大規模災害時における福祉用具の供給体制の拠点
・貸与可能福祉用具の整理を行った。

【現状と課題】
研修実技を、展示室において実施することで、展示福祉用具の有効活用と周知につなげることができた。
展示用具の試用評価貸出については、購入やレンタルを考える場合、試用して導入を検討することで失敗のない導入へとつながるので重要な事業と位置づけている。
福祉用具の開発は目覚ましく、新製品の展示が望まれるが、購入あるいはメーカーからの貸与には限りがある。

２　福祉用具等の改造・製作ならびに技術の開発

本人や家族とともに日常的なかかわりのある支援者、専門機関などと連携し、利用者の心身の状況や使用環境等、利用者と福祉用具の適合状況について評価分析を実施し、分析結果をもとに必要な改造・製作を行い、利用者にもっともふさわしい福祉用具を提供した。

(1) 福祉用具等の評価

(2) 福祉用具の改造・製作

・福祉用具の相談から改造･製作の依頼を受けた内容と件数

福祉用具の種類	改造･製作の主な内容	件数
衣類	ズボンの改造	８件
トイレ用具	手すりの改造	１件
歩行器、歩行車	グリップ、ハンドルの改造	１件
車いす	セニアカ-の杖たて製作	１件
昇降装置	スロープの製作	１件
楽器	リコーダー、ハーモニカホルダーの改造	３件
その他	子ども用自転車の改造ほか	５件
	計	２０件

(3) 自助具製作グループとの連携および技術指導

活動室を利用する自助具製作グループと連携を図るとともに、必要に応じ、技術指導を行った。

【現状と課題】

今年度多く取り組んだものは、衣類の改造（リメイク）で、一定期間ごとに継続して相談がある。

福祉用具の改造等に関する相談件数に対し、センターにおいて改造・製作に結びつく件数としては、年々減少傾向にあり、今年度は前年度（３０件）を下回る件数となった。

３　福祉用具等に関する研修の実施

福祉・介護・保健・医療分野の専門職を対象に、福祉用具・介護技術に関する研修を実施するとともに、福祉用具専門相談員等専門的人材を育成する研修を実施し、福祉用具の普及に向けた支援等を行った。

(1) 専門職種に向けた福祉用具の正しい知識の啓発研修

(2) 介護技術に関する専門的人材の育成研修

(3) 福祉用具・住宅改修に関する専門的人材の育成研修

(4) 市町、福祉関係施設職員の知識・技術の習得のための研修

(5) 福祉用具に関する高度な専門知識を有する人材育成研修

詳細については別紙「研修実績報告書」のとおり

■研修受講者数　目標値：１，２５０人　　結果：　１，１４９人

受講料収入　　目標値：１，０００，０００円　　結果：　１，２２４，６００円

【現状と課題】

研修等の実施にあたり、福祉用具を活用した演習を多く取り入れたことにより、専門職種に向けて福祉用具の正しい知識の啓発を行うことができた。

介護技術研修≪ステップ１≫については当初同一内容を３回実施する計画をしていたが、受講希望者が多く、追加開催を行った。

研修受講と受講者施設での福祉用具活用による業務負担軽減や質の良いケア等につながるようなアプローチをさらに進める必要がある。

【運営適正化委員会】

１　運営適正化委員会の運営

福祉サービスに関する苦情解決と福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営を確保するため、次のとおり委員会の運営を行った。

（１）選考委員会の開催（１回開催）

①第９期運営適正化委員会委員の補充選任

運営適正化委員会委員の欠員にともない選考委員において委員候補者を審査し、委員の補充をおこなった。

	期　　日	内　　容
１	平成２９年　５月１１日（月） ※文書審査	・委員辞任による委員候補者の審査

（２）全体委員会の開催（１回開催）

	期　　日	内　　容
１	平成３０年　３月１３日（火）	議　事 （１）平成２９年度 事業報告について （２）平成３０年度 事業計画について （３）情報交換

（３）苦情解決合議体の活動

福祉サービスに関する利用者等からの苦情解決を図るため、苦情解決合議体を次のとおり開催した。

①合議体の開催（７回開催）

	期　　日	内　　容
１	平成２９年　４月２５日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件　１１件）
２	平成２９年　６月２０日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件　　９件）
３	平成２９年　８月　８日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件　１６件）
４	平成２９年　９月２６日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件　１７件）
５	平成２９年１１月１３日（月）	苦情案件の検討（協議・報告案件　１７件）
６	平成３０年　１月２３日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件　１５件）
７	平成３０年　３月１３日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件　１７件）

②福祉サービスに関する苦情相談の受付状況

ア）受付件数(月別､受付方法別)

	来　所			書面・電話等			そ　の　他			計		
	苦　情		相談等	苦　情		相談等	苦　情		相談等	苦　情		相談等
	新規	継続		新規	継続		新規	継続		新規	継続	
４月	0	1	0	3	6	6	0	0	0	3	7	6
５月	0	0	0	2	4	15	0	0	0	2	4	15
６月	0	0	0	2	0	7	0	0	0	2	0	7
７月	0	0	0	5	3	9	0	0	0	5	3	9
８月	0	0	0	5	8	12	0	0	0	5	8	12
９月	0	1	0	9	5	4	0	0	0	9	6	4
１０月	0	0	0	2	5	9	0	0	0	2	5	9
１１月	1	0	0	3	10	10	0	0	0	4	10	10
１２月	0	0	1	1	4	2	0	0	0	1	4	3
１月	1	1	0	2	3	1	0	0	0	3	4	1
２月	0	0	0	8	9	6	0	0	0	8	9	6
３月	0	0	0	0	5	9	0	0	0	0	5	9
合　計	2	3	1	42	62	90	0	0	0	44	65	91

※　新規は件数、継続、相談等については回数

イ）種別・申出人の属性

	利用者			家　族			代理人			職　員			その他			合　計		
	苦　情		相談等	苦　情		相談等	苦　情		相談等	苦　情		相談等	苦　情		相談等	苦　情		相談等
	新規	継続		新規	継続		新規	継続		新規	継続		新規	継続		新規	継続	
高齢者	0	1	2	12	3	7	0	0	0	0	1	0	0	0	10	12	5	19
障害者	10	33	28	6	7	12	1	0	0	0	6	2	0	3	5	17	49	47
児童	0	0	1	12	2	5	0	0	1	0	0	1	0	4	1	12	6	9
その他	1	4	4	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	11	3	5	16
合計	11	38	35	32	12	25	1	1	1	0	7	3	0	7	27	44	65	91

※　新規は件数、継続、相談等については回数

ウ）新規申立の種別ならびに受付内容の区分

苦情の相手先	区　　分	苦情受付件数	苦情解決結果							
			相談助言	紹介伝達	あっせん	通知	申入	その他	継続中	意見要望
高齢者	職員の接遇	9	7	0	0	0	0	0	2	0
	サービスの質や量	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	説明・情報提供	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	被害・損害	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	権利侵害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12	10	0	0	0	0	0	2	0
障害者	職員の接遇	14	6	0	0	0	1	0	7	0
	サービスの質や量	2	2	0	0	0	0	0	0	0
	利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	説明・情報提供	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	被害・損害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	権利侵害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	17	9	0	0	0	1	0	7	0
児童	職員の接遇	5	2	0	0	0	0	0	3	0
	サービスの質や量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用料	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	説明・情報提供	2	0	0	0	0	2	0	0	0
	被害・損害	2	1	0	0	0	0	0	1	0
	権利侵害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12	6	0	0	0	2	0	4	0
その他	職員の接遇	2	2	0	0	0	0	0	0	0
	サービスの質や量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	説明・情報提供	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	被害・損害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	権利侵害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	3	0	0	0	0	0	0	0
合	職員の接遇	30	17	0	0	0	1	0	12	0
	サービスの質や量	3	3	0	0	0	0	0	0	0

計	利用料	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	説明・情報提供	5	3	0	0	0	2	0	0	0
	被害・損害	3	2	0	0	0	0	0	1	0
	権利侵害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計		44	28	0	0	0	3	0	13	0

事情調査：０件
申し入れ：３件［文書３件］
あっせん：１件
知事通知：０件
虐待通報：０件

２　福祉サービスの苦情解決にかかる広報啓発

利用者、社会福祉事業の経営者等に対して、福祉サービスの苦情解決の仕組みや運営適正化委員会を幅広く周知し、利用者側から苦情等を相談しやすい環境づくりを進めるために、広報啓発をおこなった。

（１）運営適正化委員会の周知

県社協ホームページでの広報を実施するとともに、随時、リーフレット等広報資材を相談者らへ提供。

（２）福祉サービスの苦情に関する啓発

研修会や巡回訪問等をとおして、随時、パンフレットやテキスト等啓発学習資材を事業者へ提供。

３　事業者段階における苦情解決の推進

（１）福祉サービス事業者巡回指導の実施

事業所における苦情解決の推進を図るため、事業所への個別巡回訪問において苦情解決体制等について確認し、必要に応じて助言等をおこなった。

また、事業所における会議等の場で説明を行い、苦情解決の取り組みが一層進められるよう周知・啓発も併せておこなった。

	期　日	対象（種別）	内容等
1	平成２９年　８月２８日（月）	市町社会福祉協議会	第三者委員会 ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ参加
2	平成２９年１０月２４日（火）	社会福祉法人［障害福祉分野］	巡回訪問（事業所での取り組みについて）
3	平成２９年１０月２６日（木）	市町社会福祉協議会	第三者委員会 ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ参加

4	平成２９年１２月　８日（金）	社会福祉法人［児童福祉分野］	巡回訪問（事業所での取り組みについて）
5	平成２９年１２月１１日（月）	社会福祉法人［障害福祉分野］	巡回訪問（事業所での取り組みについて）
6	平成２９年１２月２５日（月）	市町社会福祉協議会	巡回訪問（事業所での取り組みについて）
7	平成３０年　２月２３日（金）	市町社会福祉協議会	第三者委員会 ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ参加

４　地域福祉権利擁護事業の適正な運営の確保

（１）運営監視合議体の活動

福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営の確保を図るため、運営監視合議体および現地調査を次のとおり実施した。

①　合議体の開催（２回開催）

	期　日	内　容
1	平成２９年　９月　６日（水）	・上半期現地調査の報告と助言事項について ・下半期現地調査進め方について
2	平成３０年　１月２４日（水）	・下半期現地調査の報告と助言事項について ・平成３０年度現地調査について

②　定期現地調査の実施状況（１１社協実施）

	期　日	調査実施社協名
1	平成２９年　７月　３日（月）	近江八幡市社会福祉協議会
2	平成２９年　７月　７日（金）	守山市社会福祉協議会
3	平成２９年　７月２０日（木）	湖南市社会福祉協議会
4	平成２９年　７月２８日（金）	豊郷町社会福祉協議会
5	平成２９年　８月　１日（火）	多賀町社会福祉協議会
6	平成２９年１１月１５日（水）	草津市社会福祉協議会
7	平成２９年１１月２７日（月）	愛荘町社会福祉協議会
8	平成２９年１２月　４日（月）	米原市社会福祉協議会
9	平成２９年１２月　６日（水）	竜王町社会福祉協議会
10	平成２９年１２月１２日（火）	長浜市社会福祉協議会
11	平成２９年１２月１９日（火）	甲賀市社会福祉協議会